

令和元年度
訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業
「国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ
滞在型 山陰商品開発事業」

事業報告書

2020年3月19日
国土交通省 中国運輸局

目次

事業概要	2
事業フローと実施体制	4

事業実施状況

第1章	地域資源に関する調査	6
■ 1.	現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】	7
■ 1.	現地体験素材【大山地区の既存コンテンツ】	12
■ 2.	専門家（招請者）プロフィール	15
■ 3.	現地調査【隠岐諸島】	17
■ 3.	現地調査【大山地区】	19
■ 4.	専門家へのヒアリング結果	21
第2章	企画開発会議の開催	24
■ 1.	企画開発会議【隠岐諸島】	25
■ 1.	企画開発会議【大山地区】	29
第3章	外国人有識者によるアドバイス	34
■ 1.	アドベンチャーツーリズム講演会概要	35
■ 2.	山陰地域におけるアドベンチャーツーリズムの可能性	39
■ 3.	有識者会議の開催	40
第4章	モニターツアーの催行	46
■ 1.	モニターツアー【隠岐諸島】	47
■ 1.	モニターツアー【大山地区】	50
■ 2.	モニターツアーアンケート【隠岐諸島】	53
■ 2.	モニターツアーアンケート【大山地区】	60
第5章	検討会の開催	68
■	最終検討会	69
	総括	73
	次年度への展開	79
	関係機関一覧	80

事業概要

(1) 地域資源に関する調査

欧米豪からの訪日外国人旅行者が十分に堪能できるようなアドベンチャーツーリズムの考え方に即した滞在型コンテンツを検討するため、欧米豪をメインとする外国人等を招請し、招請者と共に大山地区と隠岐諸島に関しての以下のとおり調査を行うこと。

- ①調査対象エリア：「大山地区」「隠岐諸島」の各エリア
- ②実施時期：2019年7月～8月
- ③招請者の構成：欧米豪をメインとする外国人、欧米豪市場に対する知見のある有識者
大山地区 2名 隠岐諸島 1名
- ④調査対象者の構成：各エリアの現地観光協会、コンテンツを扱う地域事業者（以下「地域事業者」という。）等
- ⑤調査内容：
 - ・本事業で磨き上げの余地がある既存コンテンツの概要。
 - ・本事業で造成が望める未開発のコンテンツの有無について。
 - ・地域事業者の受入体制の確認。
 - ・各エリアに対する外国人（招請者）目線での課題・満足度について。
- ⑥調査方法：招請者と共に観光協会、地域事業者等に対しヒアリングを行う。
また、上記ヒアリングを行った内容を参考にコンテンツ化にむけての課題・有力な点について、招請者に対してヒアリングを行う。

(2) 企画開発会議の開催

(1)において把握した内容を踏まえ、滞在型コンテンツ造成に向けて事務局として企画開発会議の開催・運営を以下のとおり行うこと。

- ①開催回数：2回以上
- ②開催場所及び時期：2019年7月～9月、「大山地区」「隠岐諸島」の各エリア
- ③構成員：DMO、地域事業者、対象とするコンテンツ所在地の市町村等

(3) アドベンチャーツーリズム講演会の開催

本事業のコンセプトである「アドベンチャーツーリズム」の概念と、欧米豪からの訪日外国人旅行者が好む観光コンテンツについて、各エリアの観光関係者への情報提供を行うことを目的として「アドベンチャーツーリズム」に知見のある講師を招請し、講演会を開催すること。

- ①開催回数：2回以上
- ②開催場所及び時期：2019年7月～9月、「大山地区」「隠岐諸島」の各エリア

(4) 滞在型コンテンツの造成

- ①滞在型コンテンツの造成
アドベンチャーツーリズムの概念に即した滞在型コンテンツを「大山地区」「隠岐諸島」各エリアで3つ以上造成すること。造成にあたり、(1)(2)(3)(5)(6)の業務で行った調査結果や外国人・有識者等の意見を取り入れること。
- ②ガイドの参加
「大山地区」「隠岐諸島」の各エリアで造成する滞在型コンテンツでは一貫して地域の文化・特色について説明ができる専属のガイドを1名選出し、すべての滞在型コンテンツについて専属のガイドを付けて体験できるようにすること。専属のガイドは英語対応ができることが望ましいが、できない場合は、通訳を手配すること。
- ③マニュアルの作成及び提供
造成した滞在型コンテンツの情報を英語で記載したマニュアルを作成し、「大山地区」「隠岐諸島」各エリアの地域事業者ヘデータで提供すること。

事業概要

(5) 専門家の意見・助言の 反映

欧米豪をメインとする外国人、又は欧米豪市場に対する知見のある有識者が参加する会議を以下のとおり開催し、磨き上げを行っている滞在型コンテンツの造成状況を提示した上で、今後のコンテンツ磨き上げのポイントや(6)で実施するモニターツアーについて助言を受けること。なお、会議の開催は一般社団法人山陰インバウンド機構が連携DMOである他の2事業と合同で行うこと。

- ①開催回数：1回
- ②開催時期及び時期：2019年8月～10月、東京
- ③構成員：欧米豪をメインとする外国人又は欧米豪市場に対する知見のある有識者4名、観光庁職員、地域事業者2等

(6) モニターツアーによる検証

欧米豪をメインとする外国人や、旅行商品造成に精通する専門家等を対象に、(4)で造成した滞在型コンテンツを含んだモニターツアーを行い、開発した滞在型コンテンツの検証を以下のとおり実施すること。

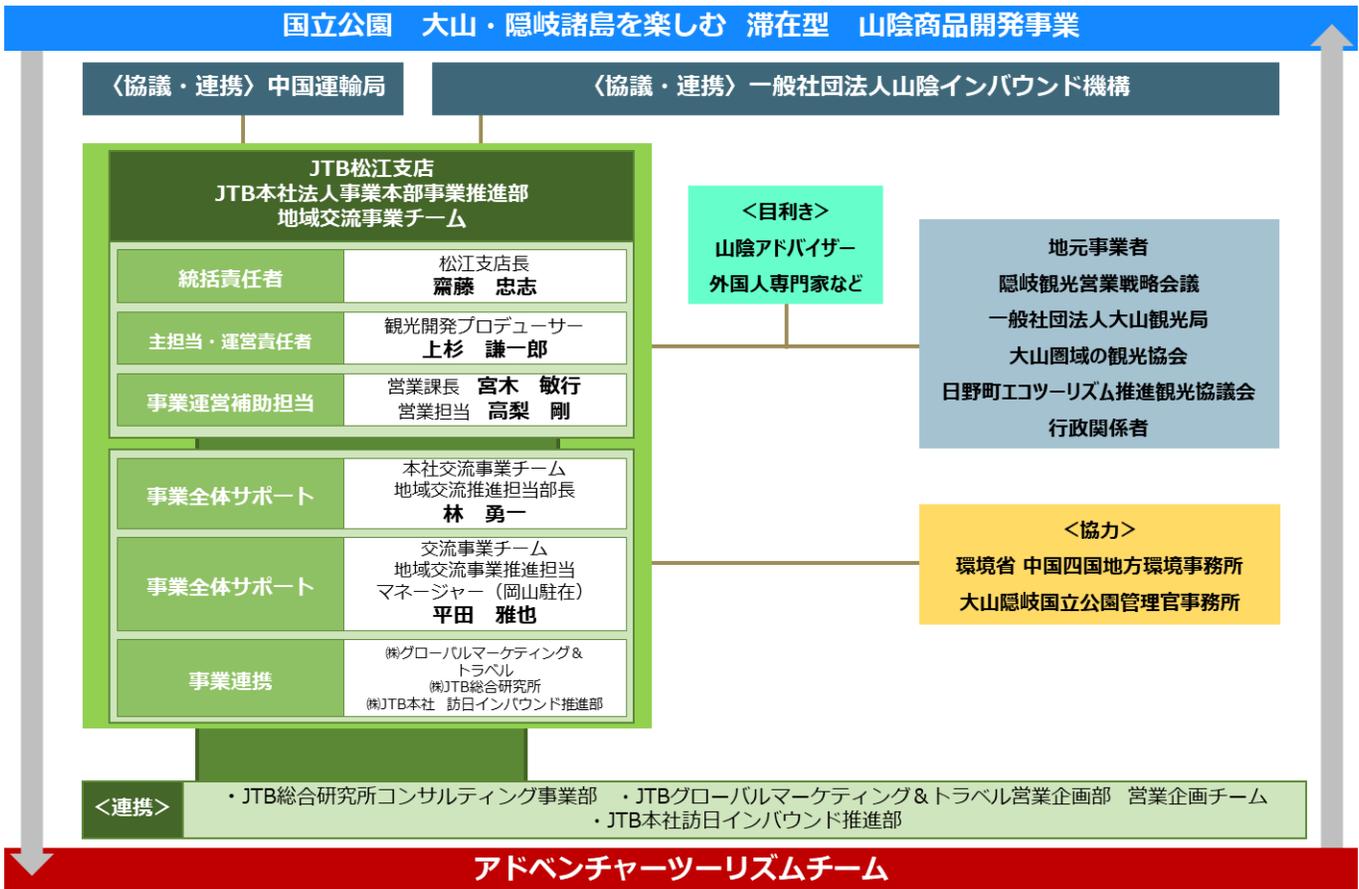
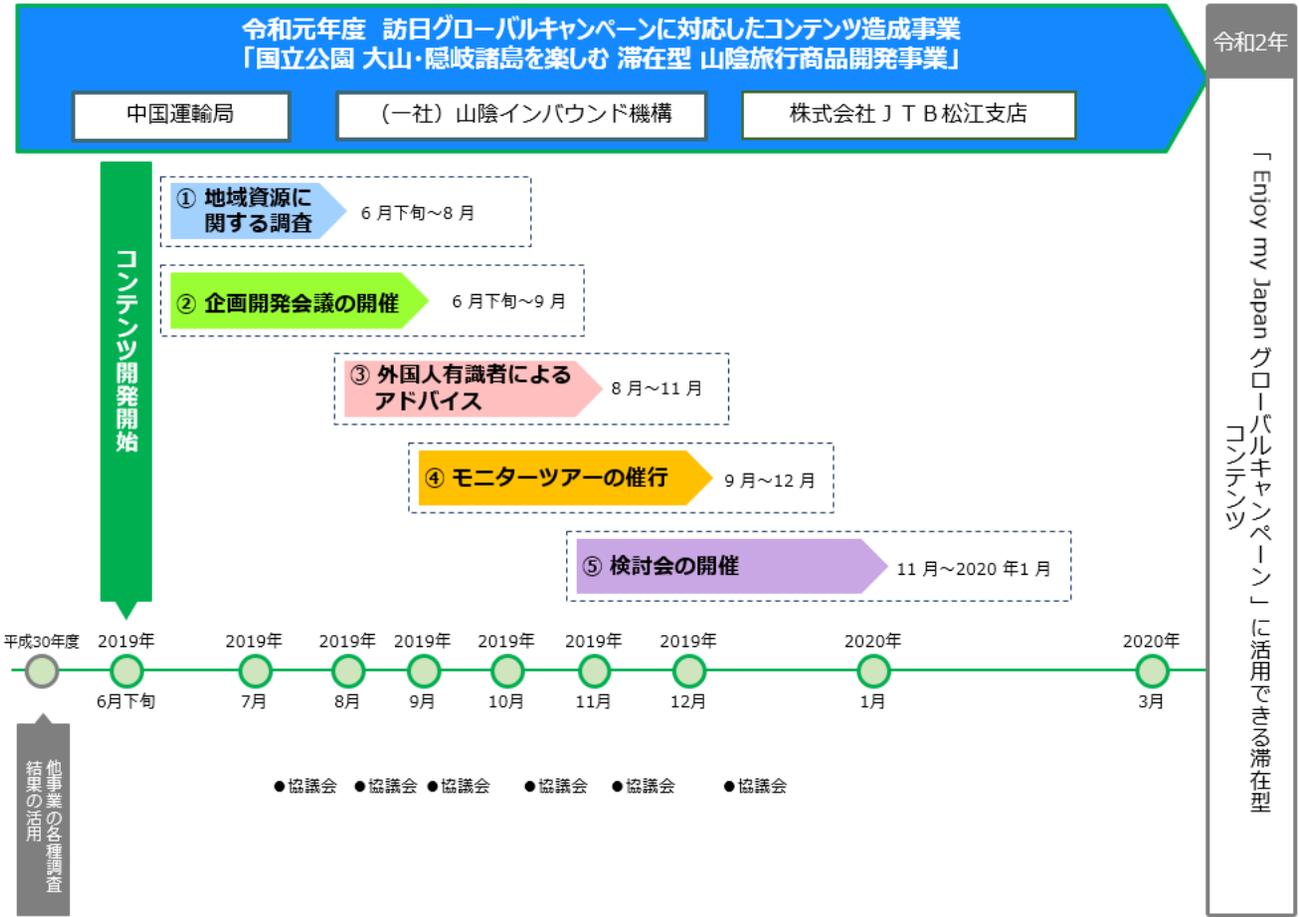
- ①ツアー行程：別紙行程表のとおり。
- ②実施時期及び実施期間：2019年9月～11月 3泊4日
- ③構成員：欧米豪をメインとする外国人、欧米豪市場に対する知見のある有識者、旅行商品造成に精通する専門家
大山地区 6名 隠岐諸島 5名
- ④意見交換会：モニターツアー終了後、意見交換会を実施し、そこで出された意見をもとに不足していた部分について
更なるコンテンツ造成を行う。

(7) 検討会の開催

造成した滞在型コンテンツが令和2年度に旅行商品として販売が見込まれる水準となるよう、商品化に向けて、事務局として検討会の開催・運営を以下のとおり行うこと。

- ①開催回数：1回以上
- ②開催時期：2019年11月～2020年1月
- ③構成員：中国運輸局、DMO、地域事業者、対象とするコンテンツ所在の市町村、外国人有識者、等

事業フローと実施体制



事業実施状況

■ 1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】	8
■ 1. 現地体験素材【大山地区の既存コンテンツ】	13
■ 2. 専門家（招請者）プロフィール	16
■ 3. 現地調査【隠岐諸島】	18
■ 3. 現地調査【大山地区】	19
■ 4. 専門家へのヒアリング結果	21

地域資源に関する調査は、現地の多くの体験素材の中から、推薦メニューを現地で専門家（招請者）と体験し、新規でメニューを作るもの、磨き上げる体験メニュー候補を決めるための企画会議に活かした。

1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】

国賀めぐり定期観光船

島前 西ノ島町

スケール感抜群の国賀海岸を船頭さんの名調子と共にめぐろう！

浦郷発Aコース	浦郷港→船引運河→国賀海岸（摩天崖・通天橋・明暗の岩屋など）→船引運河→浦郷港
別府発Bコース	別府港→（菱浦港経由※要予約）→東国賀海岸→国賀海岸（摩天崖・通天橋・明暗の岩屋など）→船引運河→浦郷港
所要時間	浦郷発Aコース：1時間30分 別府発Bコース：2時間10分
料金	浦郷発Aコース：大人3,000円 小人1,500円 別府発Bコース：大人3,500円 小人1,750円

国賀めぐり定期観光バス

島前 西ノ島町

ロケーション抜群の国賀海岸など島の見どころをめぐろう！

浦郷発着コース	浦郷港→赤尾展望所→摩天崖又は・通天橋→由良比女神社→浦郷港
国賀海岸満喫コース	別府港→赤尾展望所→摩天崖→国賀浜→浦郷港
所要時間	浦郷発着コース：1時間40分 国賀海岸満喫コース：2時間10分
料金	浦郷発着コース：大人3,000円 小人1,500円 国賀海岸満喫コース：大人3,500円 小人1,750円

国賀めぐりNEW観光船

島前 西ノ島町

オープントップの船で感じる疾走感と大迫力の国賀海岸めぐり！

コース	隠岐シーサイドホテル鶴丸→船引運河→国賀海岸（鬼ヶ城・摩天崖・通天橋・天上界・明暗の岩屋）→船引運河→隠岐シーサイドホテル鶴丸
所要時間	1時間30分
料金	2名まで1隻15,000円 3～6名まで1隻18,000円 7～28名まで1名につき3,000円

秘境トレッキング5つの滝巡りツアー

島前 西ノ島町

オープントップの船で感じる疾走感と大迫力の国賀海岸めぐり！

コース	①滝・川・山・海まるごとツアー ②滝・川・山ウエットツアー ③滝・川・山ツアー
所要時間	①3時間～ ②2時間～2時間30分 ③1時間30分～2時間
料金	①7,000円～10,000円 ②5,000円 ③4,000円



■ 1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】

島前湾内ナイトクルージング

島前 西ノ島町

ホテル所有のクルーザーで静かな夜の海をご案内します。天候の良い日には満天の星空を楽しんだり、時には青い光を放つ夜光虫を見る事ができます。

コース	隠岐シーサイドホテル鶴丸→島前湾内（星空・夜光虫観察）→隠岐シーサイドホテル鶴丸
所要時間	30～40分
料金	大人1,500円 小人700円

後醍醐天皇脱出大作戦ツアー

島前 西ノ島町

前代未聞の隠岐島脱出！ 島内史跡、資料館を巡りながらベテランドライバーが分かりやすくご案内。

コース	別府港→黒木御所跡（後醍醐天皇行在所跡）・碧風館→見附島（車窓）→お腰掛の石→赤ノ江→別府港
所要時間	1時間30分
料金	普通9,750円 ジャンボ12,900円

夕陽鑑賞ツアー

島前 西ノ島町

夕陽百選に認定を受けたロケーション抜群の夕陽鑑賞スポットへお客様をご案内します。

コース	宿・港→赤尾展望所・国賀浜・摩天崖→宿・港
所要時間	1時間
料金	普通6,500円 ジャンボ8,600円



赤壁サンセット遊覧船

島前 知夫村

赤壁を船から見る事が出来ます。

コース	来居港→赤壁→来居港
所要時間	約1時間
料金	6名まで12,000円（1名増毎2,000円）

シルクスクリーン

島前 知夫村

オリジナルTシャツが作れます。

所要時間	1時間～1時間30分
料金	Tシャツセットプラン XS版サイズ2,500円～

貝殻オブジェ制作

島前 知夫村

自由に描いて貼ってオブジェを作ろう

所要時間	1時間～1時間30分
料金	1,500円



1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】

海中展望船あまんぼう/あまんぼうナイトクルーズ

島前 海士町

半潜水型展望船で、海草の生い茂る中を泳ぐ大きな魚や群れをなす小魚たちなど、誰でも気軽に海中散歩が楽しめます。
ナイトクルージングでは夏から秋にかけて神秘的に光る夜光虫が見られます。



コース	海中展望船あまんぼう：菱浦港→三郎岩→菱浦港 あまんぼうナイトクルーズ：菱浦港周辺
所要時間	海中展望船あまんぼう：50分 あまんぼうナイトクルーズ：30分
料金	海中展望船あまんぼう：大人2,000円 小人1,000円 あまんぼうナイトクルーズ：大人1,500円 小人700円

ぐるっと海士ツアー（定期観光周遊コース）

島前 海士町

海士町の歴史・自然・文化を凝縮してご案内！ 海士町を回る定期観光です。運転手さんの案内を聞きながら海士町の名所をまるごと観光できます。

コース	菱浦港→隠岐神社・後鳥羽院史跡・資料館→金光寺山→明屋海岸→菱浦港
所要時間	1時間40分
料金	大人3,500円 小人1,800円

Amalium～手作りキャンドルづくり～

島前 海士町

所要時間	約1時間
料金	1,000円

磯 de 水族館

島前 海士町

所要時間	約2時間
料金	2名まで5,500円 ※1名増毎2,750円

天空の溶岩 de ピザ

島前 海士町

所要時間	約1時間
料金	2名まで5,500円（ピザ2枚付+サラダ、スープ、珈琲または紅茶付） 1名増毎2,200円（ピザ1枚付+サラダ、スープ、珈琲または紅茶付）

夜の隠岐神社まいり

島前 海士町

竹灯路の灯りにつまれた夜の隠岐神社。夜の澄んだ空気の中で、
神主さんの先導によりお参りをし、神様のそばであなただけの特別なお守りを受けられます。



コース	①隠岐神社の夜祈願 ②島ガイドと歩く夜の隠岐神社
所要時間	19：30～20：30（季節によって変動）
料金	①2～5名まで1名8,500円、6～10名まで1名8,000円 11名以上は問い合わせ ②2名まで1名4,500円、3～9名まで1名4,000円（10名以上不可） 小人2,000円

1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】

しゃもじ絵付け体験

島前 海士町

所要時間	約1時間	料金	1名600円（しゃもじ2本セット）
------	------	----	-------------------

ジオバス[午前発・ちちすぎコース]

島前 海士町

～島後をめぐる観光バスツアー～

隠岐の自然・文化をガイドの案内で感じる旅。かっぱ遊覧船セットプランあります！

コース	西郷港～かぶら杉～白島展望台～岩倉の乳房杉～浄土ヶ浜海岸～佐々木家住宅～西郷港
所要時間	3時間50分
料金	大人5,000円 小学生3,000円

ネイチャーアート&クラフト

島後 隠岐の島町

島の自然素材を使ってアクセサリーや生活雑貨、お土産づくり。（お茶・おやつ付き）

所要時間	1～3時間
料金	3,000円～

たき火の時間

島後 隠岐の島町

海を見ながらたき火を囲む ゆったりくつろぐ島の「とき」

所要時間	24時間
料金	3,000円～

かっぱ遊覧船

島後 隠岐の島町

かっぱ伝説の残る八尾川と漁船の停泊する漁師町を巡ります！

コース	西郷港～西郷湾～八尾川～西郷港
所要時間	45分
料金	大人1,500円 小人750円

かっぱ遊覧船+ぐるり（西郷まち歩き）セット

島後 隠岐の島町

船&歩いて港のまち並みをゆったり観光

コース	西郷港～かっぱ遊覧船（45分）+まち歩き（45分）～西郷港
所要時間	1時間30分
料金	大人1,800円 小人1,000円

ぐるり（西郷のまちをガイドと歩こう）

島後 隠岐の島町

コース	楽ぐる（楽々ショートコース）	島ぐる（島のくらしコース）	ぐるりデラックス（双眼鏡付き）	北ぐる（北前船の風待ちコース）	神ぐる（神話と自然探索コース）
所要時間	35分	45分	70分	70分	140分（6km）
料金	500円	600円	1,000円	700円	3名まで3,000円 1名増毎700円

1. 現地体験素材【隠岐諸島の既存コンテンツ】

隠岐モーモードーム・観光牛付き観戦

島後 隠岐の島町

日本最古約800年の歴史をもつ【隠岐牛付き】を観戦しよう！

所要時間	約15分
料金	大人1,500円 小人750円



バードウォッチング

島後 隠岐の島町

所要時間	4時間	料金	10,000円 ※1～10名まで
------	-----	----	------------------

港周辺町歩き

島後 隠岐の島町

所要時間	約60分	料金	500円 ※1名より催行
------	------	----	--------------

ぶらり散歩

島後 隠岐の島町

北前船で賑わった歴史と文化、隠岐ユネスコ世界ジオパークの魅力を感じながら地元商店街を巡るコース。地酒の試飲と和菓子の試食付き。

所要時間	90分
料金	1,000円（中学生以下500円） ※1名より催行



佐々木家昼食

島後 隠岐の島町

築180年の古民家で愉しむ隠岐の田舎料理

所要時間	1時間30分
料金	1名2,000円（入館料含む）

島めぐりツアー

島後 隠岐の島町

観光バスやレンタカーに現地ガイドが同乗し、隠岐の自然や歴史、そして四季の観光スポットをめぐる。

コース	島後全域（乳房杉・壇鑑の滝・トカゲ岩・白島・社寺・史跡等）
所要時間	4時間
料金	1回15,000円

山歩きツアー（トレッキング）

島後 隠岐の島町

隠岐ユネスコ世界ジオパークの自然をガイドの案内で体感し、島の山野草や生き物たちをウォッチング！！

コース	自然回帰の森（乳房杉・大滝寺山・鷲ヶ峰・壇鑑の滝・屏風岩・トカゲ岩）
所要時間	4時間
料金	1回1日20,000円



1. 現地体験素材【大山地区の既存コンテンツ】

自然と歴史が詰まった隠岐の島「シーカヤック洞窟ツアー」

大山隠岐国立公園

火山によって形成された迫力ある岩の海岸地形や、学術的に珍しいアルカリ流紋岩など、世界的にも独特な隠岐ジオパークの地質景観を体感できます。さらに、海岸の洞窟にシーカヤックで入ることができ、多様な自然の姿を見ることができます。ガイドが隠岐の自然を解説するので、より理解を深め記憶に残る体験となるでしょう。

所要時間	120分
料金	大人6,000円（13歳以上） 小人5,000円（7歳以上）

遊覧船で巡る 神話と神秘の洞窟 加賀の潜戸「加賀の潜戸遊覧船」

大山隠岐国立公園

日本海の波の浸食によってつくられた複雑な海岸線や迫力ある大洞窟、青く透き通った日本海の融合して自然景観を遊覧船で巡ります。洞窟は遊覧船で通り抜けることができます。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が魅せられた神話にちなんだ地名も多く残されており、大山隠岐国立公園が誇る海岸景観と、神話の神秘を感じてください。

所要時間	50分
料金	大人1,500円（13歳以上） 小人700円（7～12歳） ※外国人割引（大人500円、小人200円引き）、6歳未満は大人1名につき2名まで無料（団体料金有り）

研究者と行く！世界最大の両生類 オオサンショウウオの保護活動体験

大山隠岐国立公園



世界最大の両生類で絶滅危惧種となっているオオサンショウウオ。その貴重な生息地で野生のオオサンショウウオを観察し、研究者がいなければできない調査活動・保護活動を一緒に体験できます。オオサンショウウオとその生息地の保全活動を行う団体への支援を含むエコツアーです。地元食材を使った健康志向の夕食もセットになっています。

所要時間	330分
料金	1～2名70,000円 3名85,000円 4名95,000円 5名100,000円

国立公園大山の自然をいただきます！心を洗う「大山ブナの森ウォーク」

大山隠岐国立公園



国内最大級の壮大な権現造りの大神山神社奥宮まで、日本文化と融合した自然の中をガイドがご案内します。そこへと続く参道は、日本一の長さを誇る自然石の石畳。ブナ林の巨木パワーに触れながら歩けば、体内デトックス。鳥のさえずり、川のせせらぎ、風に揺れる葉っぱの音など、独特の空気感を感じられます。自然とゆったりと向かい合うひとときをお楽しみください。

所要時間	180分
料金	大人3,800円（小人同料金）※7歳以上対象

1. 現地体験素材【大山地区の既存コンテンツ】

大山の自然を満喫！ 緑豊かな大山から真っ青な日本海を目指して下る

大山隠岐国立公園

「大山ダウンヒルサイクリング」



Bコースは大山の中腹から日本海まで下るコース。眼下に広がる真っ青な海や美しい里山の風景が楽しめます。絶景のワインディングロードや田舎道をゆったりと下るダウンヒルライド。大山山麓で搾られた新鮮な牛乳からつくるヨーグルト工場や廃校を活用した施設訪問など地元民とのふれあいや清流のハイキングなどもこのツアーならではの楽しみです。

コース（所要時間）	Aコース（伯耆富士コース180分） Bコース（山から海までらくらくコース240分） Cコース（古道MTBコース150分）
料金	大人Aコース5,000円、Bコース6,000円、Cコース7,000円（小人同料金）※7歳以上対象 ※別途、森の国入園料必要（大人900円 13歳以上 ・小人700円 3～12歳）

神様が棲む聖なる岬で、神と心の縁をつなぐ「美保神社朝御饗体験プラン」

大山隠岐国立公園

美保関は日本神話に登場する神々が棲む岬とも呼ばれ、自然と伝統を色濃く残す町です。この地の聖なる場所「美保神社」で、神職とともに朝の掃除や供物を供える朝御饗（あさみけ）の儀式に参列。神様にご奉仕をすることで身と心を清める貴重な体験ができます。体験終了後に、ご奉仕修了証とお札が授与されます。

所要時間	135分
料金	大人1,500円（小人同料金）※7歳以上対象

ここでしかできない！ 「大山×星空×自分」をテーマに写真で遊ぶ

大山隠岐国立公園

「大山星空で遊ぶツアー」

豊かな自然に恵まれ、周囲に該当が少なく、標高の高い大山で見る星空は、まるで満天の空を独り占めするよう。このツアーでは、プロの写真家がガイドし、夜の大山と参加者をモデルに写真技術と光を使って幻想的な記念撮影を行います。大山の景観と夜空と自分を記録し、SNSで思い出を語り合える珍しいツアーです。

所要時間	120分
料金	大人4,000円（小人同料金）※7歳以上対象

夏限定！ ブナの森の源流で「大山シャワークライミング」

大山隠岐国立公園

暑い夏にピッタリのガイド付き源流上り体験！ 清流は湧き水のため透明感抜群で、周囲のブナの森と苔むす古き良き原生林の雰囲気はまさに幻想的。まるで宮崎駿アニメーションの世界に迷い込んだかのようです。川の水の冷たさも体感できます。初心者コースはエスケープルート（代替路）もあり、どなたでも無理なく楽しめます。

所要時間	Aコース（ビギナー向け）150分 Bコース（中級者向け）180分
料金	Aコース大人4,000円、Bコース大人5,500円・小人（4～12歳）同料金 ※別途、森の国入園料必要（大人900円 13歳以上 ・小人700円 3～12歳）

■ 1. 現地体験素材【大山地区の既存コンテンツ】

そこにしかない夢のような美しさ、大自然の銀世界「大山スノーシューツアー」

大山隠岐国立公園

開山1300年の歴史が見守ってきた西日本屈指のブナ林をはじめ、冬の大山の自然を満喫！ 大山山頂などの絶景を楽しむ雪原や林間を通るガイドツアー。地元の人しか知らないお寺・神社などのパワースポットもあります。スノーシューを使って自分の足でたどり着いた銀世界の魅力とあいまって、他にはない感動があります。

所要時間	330分
料金	大人6,500円（小人同料金）※別途、通訳手配可（有料）

国立公園内を中心とした全国屈指のサイクリングコースを巡る

大山隠岐国立公園

「蒜山サイクリングツアー」

全国屈指の自転車専用道を備えた「蒜山サイクリングロード」を中心に、国立公園蒜山を周回する全長約30kmをガイドとともにサイクリングしましょう！ アップダウンの多い蒜山地域でも爽快地走れるよう、ロードバイクやファットバイクなど、様々な自転車を揃えています。国立公園の大自然に触れ、蒜山高原の広大な景観を楽しめるほか、地元の神社などにも立ち寄るコースもあります。

所要時間	160分
料金	大人4,000円（小人同料金）※別途、通訳手配可（有料）

2. 専門家（招請者）プロフィール

欧米豪をメインとする外国人専門家を招請し、調査にあたった。

地域資源に関する調査は隠岐諸島1名、大山地区2名を招請した。事業全体では6名の外国人専門家を招請。

Said Karlsson（男性）（カールソン・サイド氏）



プロカメラマン、フリーランス

サイド・カールソンは2008年より東京を拠点に活動する、写真家・ジャーナリスト。Navitimeが監修する訪日外国人向けの英語コンテンツであるNavitime Travel (www.navitimejapan.com)へ記事と写真を提供している。旅を中心とした最新の写真は自身のインスタグラムにて毎日更新されており、現在約1万人のフォロワーを抱えている。

柴田 恵理子（女性）

フォトグラファー、翻訳家

1982年東京生まれ。2003年スウェーデン・ルンド大学へ交換留学。2006年早稲田大学商学部卒業。卒業後は株式会社日本航空に入社し、運航部に勤務し運航管理者資格を得る。2010年末よりUAEドバイに移り、エミレーツ航空にて客室乗務員として勤務。JETRO ドバイ事務所にフリーランス通訳として登録。ビジネス通訳を随時請け負う。2015年末に日本に帰国。東京写真学園にて1年間スタジオ撮影技術を学ぶ。2016年以降フリーランスフォトグラファー・通訳者として、旅やポートレートを中心に撮影。2019年春以降、Sweet Escape Pte Ltd（本社インドネシア）とパートナー契約を結ぶ。東京を中心に、訪日観光客のポートレート撮影を行なっている。

通訳・翻訳の主なクライアント（順不同）

JETRO

JICA

在日南アフリカ共和国大使館

東京都港湾局

海上保安庁

公益財団法人ユネスコ・アジアセンター

コスタクルーズ（Costa Crociere S.p.A）

ブライティング・ジャパン株式会社

株式会社バリー・ジャパン

リシュモン・ジャパン株式会社

レッドブル・ジャパン株式会社

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ほか。

Katherine(Kit) Pancoast 長村（女性）

ライター、アメリカ出身

1977年 ニューハンプシャー州 ハイ・モウイングスクール卒業

1982年 ブラウン大学 英語・美術専攻 卒業

来日 1985～1986年 慶應義塾大学・明治大学にて英語講師

1988年 ミシガン州立大学 クリエイティブライティング修士

1993年 ウィスコンシン州立大学ミルウォーキー校 英文学博士号

再来日 1992～1995年 津田塾大学にて詩・フィクション執筆のインストラクター 英語・英会話講師

1996年 立教大学にて英会話講師

1997年～ 航空機内及び旅行雑誌へ多数寄稿。カメラレポーター、ナレーターとしても活動。

■ 2. 専門家（招請者）プロフィール

Denis Chia（男性）

シンガポール出身。2012年に早稲田大学国際教養学部卒業。
2016年に東京大学大学院卒業。
2017年に株式会社BOUNDLESSを設立。
来日して4年間で47都道府県を制覇した。
教育関係者、職人、政治家、芸能界、NGO等幅広い人脈を持つ。
地域の魅力を再発掘すると同時に、少子高齢化が進む日本の各地域が直面している課題解決に励んでいる。
自身の人脈を活かし、日本に住んでいる外国人や国際的な背景を持つ感度の高い日本人と共に新しいコミュニティ構築に力を注いでいる。
日本で得た知識や経験を活かし、世界にも通用する持続可能な社会作りに貢献することを目標に活動している。
その他 フリーランス通訳、翻訳としても活動歴多数あり。

Isabelle MASSABO マサボ イザベル（女性）**コーディネーター**

東京生まれ、日仏を行き来しながらバイリンガルな環境で育つ。リセ・フランコジャポネ（日仏学校）を卒業後、テンブル大学に入学し経済学を学ぶ。1999年「イザベルとベネ」でお笑いコンビを結成し、タレント活動を開始し数々のテレビ番組に出演。2004年 旅番組「ガムシャラ旅行団」に出演し、海外と日本を繋ぐ仕事を中心に活動。2008年「テレビジョン株式会社」を設立し代表取締役社長に就任。「海外の良質なコンテンツを日本へ！日本の誇れるコンテンツを海外へ！」をテーマに番組や イベント等のプロデューサー兼タレントとして現在に至る。近年は「旅のソムリエール」として海外との日本の架け橋になる番組出演やイベントの司会進行、海外・日本進出を目指す企業や各国の大使館イベントをプロデュース。インバウンド・アウトバウンド事業のアドバイザー・コンサルタントとして世界各国公館・日本全国の自治体を 訪問し、講演会を実施、シンクタンクとして活動中。フランス語圏を中心に海外ネットワークの人脈がひろく、駐日大使館、観光局、ビジネスマンとの情報網をもっており、各新聞社、各放送局、雑誌社からもその情報網をたよりに、多くの相談の依頼を受けている。

Lisa Wallin（女性）

- ・Tokyo Weekender（英字雑誌）の編集者 兼 ライター
- ・NHK WORLD（NHK国際局）TOKYO EYE 2020レポーター
- ・NHK WORLD、J-Trip Planレポーター
- ・ツアーガイド（全国対応）
- ・その他、観光に関するライティング（東京都Life in Tokyoウェブサイト）

中数 大輔（男性）

株式会社 JTBグローバルマーケティング&トラベル
営業本部 情報企画室 担当課長
1975年生まれ。1998年大学卒業後、(株)日本交通公社(現JTB) に入社し、国際旅行事業部においてインバウンドの法人営業を担当。
2005年からは、JTBグループの分社化に伴い、JTBグループ唯一のインバウンド機能特化会社である(株)JTBグローバルマーケティング&トラベルに勤務。
以降、2013年の香港支店勤務を除き、一貫して訪日旅行マーケットに従事し、団体/プロモーション/Webソリューションのセールス、コンテンツ開発/情報インフラ整備/マーケティング等を担当。
現在は、営業企画チームにおいて、Webマーケティングとコンテンツ情報社内ポータルの運用を担務とする。

3. 現地調査【隠岐諸島】

「隠岐諸島」にて、下記の内容で実施した。



- ①調査対象エリア 島根県隠岐諸島
- ②調査時期 2019年7月22日(月)～7月24日(水)
- ③招請者 Said Karlsson 氏
- ④地元事業者 隠岐観光協会
隠岐旅工舎(山陰観光開発株式会社)
- ⑤実施方法 隠岐観光協会、隠岐旅工舎が推薦する体験メニューについて、3日間の現地調査を行い、招請者からの意見をもらった。調査結果を受けモニターツアーに体験メニューとして組込めるか、検討会で意見交換を行うことになった。
- ⑥視察コンテンツ 酒蔵見学・突き牛と散歩・隠岐神社・海中展望船あまんぼう・
国賀海岸、展望施設、ハイキングコース

隠岐現地調査日程

日次	月日曜	行程	食事
1	7/22 (月)	フェリー 七類 ~~~~~ 西郷 9:00 11:25 JAL115 JAL2331 羽田空港 ++++++ 伊丹空港 ++++++ 隠岐空港 =====【隠岐酒造】===== 11:30 12:35 13:15 14:05 14:40 14:50 15:30 ※隠岐酒造見学 =====【那久岬】=====【屋那。舟小屋群】=====【都万・突き牛散歩】===== 吾箇(泊) 15:55 16:05 16:20 16:40 16:45 17:15 ご注意：隠岐の島・吾箇 ホテル海音里	昼：○ 夕：○
2	7/23 (火)	宿送迎 フェリー ホテル ===== 西郷港 ~~~~~ 菱浦港 =====【金剛寺山・明屋海岸・宇受賀命神社】===== 8:30 9:40 =====【海士町昼食】=====【木路ヶ崎灯台・奈須神社】=====【海中展望船あまんぼう】===== 11:30 12:15 13:20 14:10 内航船 =====【隠岐神社】===== 菱浦港 ~~~~~ 別府港 ===== ホテル 15:00 16:00 16:05 16:47 16:54 17:05 ご注意：西ノ島・別府 隠岐シーサイドホテル鶴丸	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	7/24 (水)	ホテル =====【国賀海岸・由良比女神社】=====【昼食】=====【国賀海岸】===== 別府港 ~~~~~ レインボージェット 8:30 14:12 路線バス 路線バス JAL286 ~~~ 七類港 ===== 松江・会議 ===== 出雲空港 ++++++ 羽田空港 15:12 19:25 20:50	朝：○ 昼：○

<凡 例> ○は入場観光/○は下車観光/△は車窓観光 <記入例> 鉄道■■■ 航空機++++ 私鉄+++++ バス===== 船~~~~ ケブルカー==== ロープウェイ==== 徒歩…… タクシー/乗用車

■【隠岐諸島】コンテンツ所在地



3. 現地調査【大山地区】

「大山地区」にて、下記の内容で実施した。

- ①調査対象エリア 鳥取県大山地区
- ②調査時期 2019年8月6日(火)～8月8日(木)
- ③招請者 Said Karlsson 市
柴田 恵理子 氏
- ④地元事業者 日南町協会
(山陰観光開発株式会社)
もんぺる(大山コーディネーター)
- ⑤実施方法 大山コーディネーターが推薦する体験メニューについて、3日間の現地調査を行い、招請者からの意見をもらった。調査結果を受けモニターツアーに体験メニューとして組込めるか、検討会で意見交換を行うことになった。
- ⑥視察コンテンツ 聖滝・若松クローム鉱山・オオサンショウウオ保護体験・奥大山ブナの森・大山の大献灯・ダウンヒルコース



大山現地調査日程

日次	月日曜	行程	食事
1	8/6 (火)	ANA 383 羽田空港 ++++++ 米子空港 〓 聖滝 〓 アマダス茶屋 〓 9:35 10:55 11:15 12:00 12:30 13:00 (昼食) 14:00 〓 【現地調査】若松クローム鉱山 〓 ホームランド多里 〓 14:30 (秘境探検ツアー) 17:30 18:00 (夕食) 19:00 〓 【現地調査】土屋・オオサンショウウオ保護体験 〓 日南町(泊) 〓 米子 19:15 21:00 21:30 22:00 ご宿泊：イチイ荘	昼：○ 夕：○
2	8/7 (水)	松江イオン 〓 米子駅 〓 日南町・ホテル 7:30 8:10 9:30 ホテル 〓 聖滝・古民家かつみや 〓 道の駅奥大山 〓 【現地調査】奥大山ブナの森 〓 9:30 9:45 10:45 11:45 (昼食) 12:45 13:15 (源流体験) 16:30 〓 ガンパリウス 〓 【現地調査】大山の大献灯 〓 大山(泊) 〓 米子 〓 17:30 18:30 19:00 21:30 21:45 22:15 ご宿泊：大山ロイヤルホテル	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	8/8 (木)	松江イオン 〓 米子駅 〓 大山・ホテル 7:45 8:25 9:00 ホテル 〓 【現地調査】ダウンヒルコース 〓 大山町御来屋 〓 由志園 〓 9:00 ※ダウンヒルコース 12:30 (昼食) 13:30 14:30 15:30 ANA388 〓 米子空港 ++++++ 羽田空港 16:00 16:55 18:25	朝：○ 昼：○

<凡 例> ○は入場観光/○は下車観光/△は車窓観光 <記入例> 鉄道□□□ 航空機++++ 私鉄##### バス===== 船~~~~ ケブルカー==== ロープウェイ==== 徒歩…… タクシー/乗用車

■【大山地区】コンテンツ所在地



4. 専門家へのヒアリング結果

〈隠岐諸島〉観光コンテンツとレビュー

レビュー作成：Said Karlsson 氏

■ 酒蔵見学

良いツアーでした。欧米からの観光客で酒蔵見学に興味を抱く人は多いでしょう。ですが楽しんでもらうためには、彼らに理解できる言葉で、日本酒について何も知らない人が少なくない欧米人に合わせたやり方で行う必要があります。看板などにある言葉が英語に翻訳され、ベテラン通訳者が同行できればもっと良くなると思います。

■ 突き牛と散歩



楽しいと感じさせるには、絶対的に何かが必要です。ただ散歩するだけでは不十分です。散歩よりも隠岐独特の文化をより感じられる「牛突き」に焦点を当てる方がよいと思います。牛と散歩するだけなら他所でもできるでしょうから。散歩に加えて飼育施設を見学し、隠岐牛や突き牛の飼育に関する歴史を学ぶツアーにすれば面白いのではないのでしょうか。

ただし、動物保護に強い関心を寄せる欧米人も多くいることを承知しておくべきでしょう。一例をあげれば、屋外で木柱につながれている牛たちを見て快く思わない人がいるかもしれません。

■ 隠岐神社

昼間よりも、夜に訪れる方が興味を引くとおもいます。観光客の多くは既に他の神社を訪れており、昼間に訪問しても特別な経験とは言い難いでしょう。

満天の星空のもと神社を散策する。これはとても良いアイデアだと思います。さらに神官の方にお会いしてお話をうかがえるというのも、素晴らしい経験です。またここでも熟練した通訳者の存在が欠かせず、ツアーの成否を担うと考えます。

なお、このツアーでは参加者が参拝や神社が行う祈祷などへの参列を希望するか、あるいは社殿の見学だけを希望するかを選擇するようにする必要があります。

■ 海中展望船あまんぼう

楽しいツアーでした。一般受けする企画だと思えますが、やはりガイドは外国人にわかる言語で行うべきでしょう。隠岐の独特な海洋生態系について説明があればとても良いと思います。

それから、展望船のスピーカーは音質が悪くうるさいので何とかした方がよいのでは。

■ 国賀海岸、展望施設、ハイキングコース

隠岐諸島の魅力を一番感じられる体験だと思います。ポイントとなる場所を上手く選べば、美しく感動的な景観を楽しみながら自由に歩き回ることこそ、隠岐の島ならではの体験として多くの訪問者を引きつけるだろうと考えます。乗馬など、動物と直接触れ合う体験と組み合わせればさらに魅力を増すはずです。

4. 専門家へのヒアリング結果

〈大山地区〉観光コンテンツとレビュー

レビュー作成：Said Karlsson 氏 (SK)

柴田 恵理子 氏(ES)

■ 森の滝までハイキング（聖滝）

このプログラムの目的地は少し残念でした。森の中の散歩は素晴らしく心地良かったのですが、目的地に到着した際には、それほど感動はありませんでした。以前にもっと壮大な滝を見たことがありますし、この滝自体はプレミアムパックツアーの一部としてふさわしい目的地ではないと思います。しかし付近を散歩するのは楽しかったので、より自然に重点を置き、ハイキングに時間をかけて、滝はその道中の立ち寄り先にした方が良いと思います。写真を見たところ、この辺りは夜にホタルが活発になり綺麗なようですので、おそらくホタルの季節には面白いスポットになるでしょう。(SK)

歩道の入り口から滝までは、歩きやすく程よい距離のウォーキングだった。山本さんによると、ホタルが集まる場所ということで日南町の観光ポスターにもなっているようだったのでその時期にぜひ訪れてみたいと思った。聖滝は、写真で見ていたよりはインパクトに欠けていた。滝壺近くまでは行かなかつた（行けない？）せいかもしれない。ここをツアーに含めるのであれば、聖滝にまつわる印象に残るエピソードやストーリーが必要になりそう。(ES)

■ コミュニティセンター・スクール附属の博物館

現状のままではやっていけないと思います。面白いのですが展示コーナーが小さく、私達を案内してくれたガイドの方はあまり知識が豊富ではないようで、魅力的に紹介しようという熱意もあまり感じられませんでした。しかし英語での解説など一部手を加えれば、今回のパックツアーにも通用するかもしれません。(SK)

■ 若松クローム鉱山

この場所には可能性を感じましたが、ツアーの目玉とするにはかなりのてこ入れが必要だと思います。現状では、廃鉱に着くまでの運転があまり上手ではなかったため、そこまで行くことが非常に難しく、幾分危険にも思われました。道路の一部は非常に狭くなっていて、ガードレールが無く、片側は切り立った崖でした。もう少し整備が行き届けば、工場までのハイキングは良いと思いました。廃鉱自体は非常に状態が悪く、屋根に破損が見受けられ、安全性に疑問が残ります。地面に多数のガラスの破片や瓦礫が落ちていて、現状のままツアーを行うなら、ツアーの参加者は最低でもヘルメットを着用し、よりふさわしい靴を履かなければいけません。多少人里離れた場所であるということは、何らかの事故が起きた際にすぐに助けを呼ぶのは難しいということなのです。その場所にまつわる話をより魅力的に伝える方法を考え、資金を投じて安全性を高め、今よりも観光客が来るのにふさわしい場所とすることで、ツアーの目玉になりうるでしょう。しかしそのためには、廃鉱を訪問する前に立ち寄った小さな博物館の質を上げ、解説の内容を向上しなければなりません。(SK)

安全性について、旅行者を連れて行く要件を満たしているようには感じられなかった。跡地の建築物は傷みの状態がひどい為（修復の予定もないとのこと）、多くの訪問者を受け入れるのは現実的に難しいだろうと、担当者の方もおっしゃっていた。跡地へ向かう前に立ち寄った資料室では、クローム鉱石や鉱山について詳しく説明を受けた。ただ、一般的にはあまり馴染みがないトピックであるため、説明の内容を理解でき興味を持つ旅行者は限定的なように感じた。

廃墟への道：未舗装の山道。草は腰の高さまで伸びているところも多数あり、道中マムシを目撃した。急な斜面を上がることもあった。当日は雨だったのでより難しさを感じた。工場跡地廃墟：木の床の一部は脱落しており、いつ抜けてもおかしくないほど弱くなっている箇所がいくつかあった。天井も抜けている部分が多く、当日は雨だったので至るところで水が滴り落ちていた。窓ガラスが多数割れており、脱落したガラスが床に散乱していた。割れた後に電気コードのようなものに引っかかって、天井から鋭利な状態でぶら下がっているものもあった。(ES)

■ オオサンショウウオ保護体験

このツアーの見所の一つでした！このテーマについて非常に造詣が深く、熱心な岡田先生の力によるところが大きいと思います。大抵の人が自分では体験できない内容として際立っているため、パックツアーにふさわしいでしょう。理想を言えば、川に行く前にレクチャーを加える等して、もっと長く時間を割いても良いと思います。しかし全体として、このプログラムは非常に良くユニークで、ツアーの内容としてふさわしいと思います。(SK)

大山の豊かな自然環境の中に、人間の生活の営み（農業など）があつてこそ、オオサンショウウオの住みやすい環境があるということや、大山の生態系について学べる非常に面白いアクティビティだと感じた。実際のツアーは、午後 3 時から 9 時頃までじっくり時間をかけて行うということなので、より満足度も高いだろうと思う。終始、とても丁寧な説明して下さった岡田博士の熱意が素晴らしかった。川の近くにはトイレがなく、観測は数時間かかるので、事前に済ませるなどのアナウンスは必要と思う。川の底はやや歩きにくいので、幼い子供や高齢の人には注意が必要かもしれない。(ES)

■ 4. 専門家へのヒアリング結果

■ 奥大山ブナの森

ガイドの方がこのテーマとツアーでウォーキングした地域に関して非常に造詣が深く、熱心であったことも手伝って、これもとても面白い経験になりました。この地域の生物相や、地元の動植物が水質にもたらす影響について学べて、非常に楽しかったです。ガイドの方が地元の食材で作ったお菓子とお茶を持ってきてくださったことも有り難かったです。こういった小さな気配りが大きな違いを生むのです！このままでも良いと思いますが、もう少しウォーキングするエリアを広げてもいいかもしれません。現行のルートは、どちらかというと少し短く感じました。(SK)

ガイドの丸山さんの「大山への愛」が強く感じられ、朗らかなお人柄も素晴らしく、色々なことを学ぶことができたツアーだった。森へ入る前に、注意する植物や虫についての説明があったことも良かった。ブナの森はよく整備されていて歩きやすく、またいくつかルートがあるようなので他のハイキング客を避けた道筋を歩くこともできたのが良かった。途中の休憩時のために丸山さんが持参された、地元の食材を使った「お茶とジャム（が塗られたパン）」には温かいホスピタリティと共に地産地消を推進したいという気持ちが強く感じられて、訪日外国人にもきっと響くおもてなしの表現だと感じた。(ES)

■ 大山の大献灯

このプログラムは至って普通でした。1年のうち特定の週末に一度しか行われないので、ツアーの一部としてどのように機能するかはわかりません。確かに、ツアーの日程中にライトアップが行われるのであれば、訪れる価値はあるでしょう。しかし、私なら和傘のライトアップを見るためだけにツアーの日程を合わせようとは思いません。前回のツアーのように大山寺をお坊さんと一緒に散策するともっと面白く、ツアーの内容としてもふさわしくなるでしょう。日本の宗教に関してあまり知識のない欧米からの観光客が、前回の私たちのように堅苦しくない形式で本物のお坊さんと交流し、質問できると面白いだろうと思います。(SK)

大献灯の内覧会はメディアの方達のみのお来場ということでじっくりと観賞することができたが、広大な大山寺の敷地に対して和傘を展示されている箇所がごく一部なので、多くの人出がある場合は混雑しそう。傾斜が続く石畳がやや歩きにくく、足元を照らす明かりもなかったので少々危険を感じた。大献灯自体には関係ないが、参道入口から見る、夕日に照らされた街の景色と海岸線はとても美しかった。大山寺訪問と参道を散策する自由時間などを含めるのも良いのでは、と感じた。（飲食店の営業時間には注意が必要？）(ES)

■ ダウンヒルコース

このツアーのもう一つの見所でした。こういった様々な風景を自転車で走り抜け、要所に立ち寄るとするのは、ツアー全体の流れの中で上手く活きると思います。ただ一つ不満なのは、最初に立ち寄った場所で川まで歩いて下るという内容が前日に行ったブナ林のハイキングと非常に似ていたという点です。理想を言えば、この2日間の日程を担当するガイド同士で調整して、全く同じ生物相の特徴に関しては話をしないようにすべきだと思います。後でランチに訪れた地元のレストランも本当に良かったです。こういった地元ならではの本物のお店が、多くの観光客の興味を引くでしょう。(SK)

欧米豪の旅行者には非常に好まれるアクティビティだと思う。森の散策は、奥大山ブナの森と若干重複する部分があるので（植物の説明など）、両方のアクティビティをひとつのツアーに含めるのであれば、ガイドの内容などを擦り合わせ、いずれも新鮮に感じられるように工夫されると良いと思う。途中で休憩を入れるのであれば（今回はヨーグルト工場？）、事前に営業しているかどうか確認してから訪問できると良いと思う。立ち寄ってから休業を知るというのは、ツアー参加者としてはあまり印象が良くないと思う。ダウンヒルコースにはいくつか種類があるようなので、参加者のレベルに合わせて変えられると良いかもしれない。途中で森の散策が含まれているとは知らず、軽装で参加してしまったことを後悔した。参加者には事前にアクティビティの詳細スケジュールと、服装のアドバイスがあると良い。安全、および虫刺され対策のためにも、長袖長ズボンは必須だと思う。プレミアムツアーということであれば、アクティビティの開始時に、ヘルメット・自転車の貸出しと共に、スポーツドリンクまたは水の配布があるとより親切だと思う。(ES)

■ 1. 企画開発会議【隠岐諸島】	25
■ 1. 企画開発会議【大山地区】	29

企画会議では、地域資源調査のフィードバックを活用し、体験メニューを選定したうえでモニターツアーに組み込むための意見交換など、企画会議を繰り返し行いコンテンツ、ツアー造成をめざした。

1. 企画開発会議【隠岐諸島】

第一回	日時	2019年8月23日（金） 9：00～12：00
	場所	隠岐支庁別館2階 第二会議室
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発株） 八幡社長、中西 （一社）山陰インバウンド機構 青山プロモーション部長、石橋シニアマネージャー 株式会社JTB 上杉
	議題	①外国人専門家について ②モニターツアーの日程・内容について ③その他
内 容	<p>現地資源調査をうけて、酒蔵見学については、同様な体験メニューが他の地域でも実施されているため、ならでは感にかけること、仕込みは見学できないなどの意見から、今回のコンテンツ造成から外した。コンテンツの考え方として、島後では隠岐の島の方との交流を中心にすえる。島前ではジオパークを中心とした景観を楽しんでもらう。島人との交流、ジオパーク、島の文化・歴史を体験できるメニューとする。コンテンツを入れこみ、ツアーを組み上げる。</p> <p>隠岐でのコンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ぶら散歩 ・島くらし体験 ・突き牛散歩 ・鷲ヶ峰トレッキング ・赤崖と赤ハゲ山ガイドツアー ・天空ウォーキングツアー ・隠岐神社夜の祈願 	

■ 1. 企画開発会議【隠岐諸島】

第二回	日時	2019年8月30日（金） 9：00～12：00
	場所	隠岐支庁別棟 第4会議室
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発㈱） 八幡社長、中西 株式会社 J T B 国内仕入商品事業部 米澤中国地域統括部長 株式会社 J T B 上杉
	議題	①モニターツアーの日程・内容について ②その他（AT講演の参加者確認）
内容	<p>ツアーガイドを福田氏に決定し、4日間島後、島前をとおして案内をする。 それぞれのコンテンツのついて詳細な内容を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ぶら散歩 港町を感じてもらうため昼食場所まで歩いて案内する。昼食場所では三味線の演奏をサプライズ的に聞いてもらう。 ・島暮らし体験 当日の天候などで体験内容を決定する。のんびり漁師の方との交流を楽しんでもらう。 ・突き牛散歩 現地資源調査時では最初にツアーの説明をしなかったため、ツアーの始まりにしっかりと案内をする。 ・鷲ヶ峰トレッキングツアー 登山ガイドをつけ、コーヒーを現地で沸かし提供する。 ・赤崖と赤ハゲ山ガイドツアー 福田氏にジオパークについて説明をしっかりとってもらう。 ・天空ウォーキングツアー 時間をゆっくりとり、国賀浜ではコーヒーを沸かし提供する。 ・隠岐神社夜の祈願 隠岐諸島の歴史文化を体験してもらう。新たなコンテンツとして、隠岐の高校生との交流が可能かどうか、次回までに検討してもらう。 	
第三回	日時	2019年9月4日（水） 17：00～18：00
	場所	隠岐プラザホテル
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発㈱） 八幡社長 隠岐プラザホテル 横地専務 島根県隠岐支庁県民局 中道観光振興課長 （一社）山陰インバウンド機構 石橋シニアマネージャー 株式会社 J T B 上杉
	議題	AT（アドベンチャーツーリズム）の現状
内容	<p>コンテンツを組みこんだツアー造成にあたり、ATアドベンチャーツーリズムの視点でアドバイスをもらった。 環境への配慮、SDGsの考えが基本となる。 ガイドの質の問題は重要で、語学力や表現方法など能力の高さが求められる。 隠岐諸島単独でATを目指すのではなく、山陰地域全体でATを目指すべき。</p>	

■ 1. 企画開発会議【隠岐諸島】

第四回	日時	2019年9月19日（木） 13:00～14:30
	場所	隠岐支庁別棟 第4会議室
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発株） 八幡社長、中西 株式会社 J T B 上杉
	議題	①モニターツアーの内容について ②有識者会議について
内 容	<p>モニターツアーの進捗確認</p> <p>町ぶら散歩のサプライズについては、三味線の演奏に加え、民謡も地元の方に披露してもらう。島前高校との交流については、高校の「人つなぎ部」に交流をお願いし学校側もOKとなる。</p> <p>ツアーの食事については、和食、洋食、BBQ、バイキング、イタリアンなどメニューコントロールをしっかりとした。</p> <p>ツアーは隠岐旅工舎がアテンドを担当する。</p>	

第五回	日時	2019年10月11日（金） 9:40～11:30
	場所	マリポート海士
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発株） 八幡社長 海士町観光協会 小西 （一社）山陰インバウンド機構 堀江事務局長、石橋シニアマネージャー 専門家 サイド、キット、デニス、イザベル、柴田 株式会社 J T B 上杉
議題	モニターツアーの総評	
内 容	<p>モニターツアーを受けてコンテンツについて様々な意見を頂戴した。</p> <p>議事録内容はモニターツアーアンケートの項（55p～）に含む</p>	

■ 1. 企画開発会議【隠岐諸島】

第六回	日時	2020年1月24日（金） 10：00～11：30
	場所	隠岐支庁別棟 第4会議室
	出席者	隠岐観光協会 角橋事務局長、藤田 隠岐旅工舎（山陰観光開発株） 八幡社長、中西 島根県隠岐支庁県民局 中道観光振興課長 株式会社 J T B 上杉
	議題	販売ツアー概要について
内 容	<p>モニターツアーの意見から、トレッキングは行程から外し、壇鏡の滝、玉若酢神社をいれ隠岐の歴史を考えるツアーにした。コンテンツについても修正をおこなったので、最終の検討会で最後の調整を行う。ツアー、コンテンツについては再度見積もりをお願いする。</p> <p>コンテンツやツアーの今後について。</p> <p>マーケットとしては、J T Bのインバウンド部門である J T B グローバルマーケティング&トラベルを通して、海外の旅行会社へつなぐ B t o Bを考えている。</p>	

1. 企画開発会議【大山地区】

第一回	日時	2019年7月25日（木） 10：30～12：00
	場所	日南町役場
	出席者	日南町 古川 日南町観光協会 山本事務局長 （一社）山陰インバウンド機構 石橋シニアマネージャー 株式会社 J T B 上杉
	議題	①現地調査について ②民泊の受入れについて
内 容	<p>日南町の今回の事業で造成するコンテンツとして、国立公園満喫プロジェクトなどモニターで評価の高かった、「オオサンショウウオ保全体験」をコンテンツの柱とする。</p> <p>地元側から、「若松クローム鉱山跡廃墟ツアー」、「古民家かつみや田舎料理体験」は実施したことがあり今回の事業での磨きあげを希望された。</p> <p>宿泊箇所が少ないことから、「民泊体験」を新規で造成することになった。</p> <p>日南町でのコンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオサンショウウオ保全体験 ・若松クローム鉱山廃墟ツアー ・古民家かつみや田舎料理体験 ・民泊体験 <p>の4種類を含めた現地調査とする。</p>	

■ 1. 企画開発会議【大山地区】

第二回	日時	2019年7月29日（月） 10：00～11：00
	場所	大山観光局
	出席者	大山観光局 車 （一社）山陰インバウンド機構 石橋シニアマネージャー 株式会社 J T B 上杉、高梨
	議題	①現地調査について ②ツアーの受入れ体制について
内 容	<p>大山・日南町両方の受入れ窓口として、大山観光局にその役割をお願いしたが、日南町や奥大山地域は手配経験等がなく総合的な受入れ窓口になれない。それぞれの地域をまとめる役割は本来圏域のDMCが担当すべきだが、それがなく今後の展開としてJTB松江支店が両地域をコーディネートすることになる。</p> <p>日南町観光協会、大山観光局はアドベンチャーツーリズムでいうベンダー（アクティビティ提供者）の役割を担ってもらう。</p>	

第三回	日時	2019年9月1日（日） 13：00～15：00
	場所	JTB松江支店
	出席者	コーディネーター 松本、圓山 株式会社 J T B 上杉
	議題	①モニターツアーについて ②AT（アドベンチャーツーリズム）について
内 容	<p>地域資源に関する調査で評価が高かった、ダウンヒルサイクリング、ブナの森を中心にコンテンツを磨きあげていくこととなる。</p> <p>奥大山でサントリー森の学校などのガイドや、大山のガイドの育成をしている、もんぺる圓山さん、松本さんへ日南町、奥大山、大山の全部の地域をコーディネートしてもらい、ガイドもお願いした。</p> <p>コンテンツとしては、大山地域で人気のある「ダウンヒルサイクリング」を途中地元の方との交流ができる場所を新たに探し、コースも従来のコースに修正を加え、新たなコース制作を依頼した。</p> <p>登山については、単純な登山ではなく、大山寺を中心とした山岳信仰をテーマに異文化を感じさせる工夫をお願いした。</p> <p>大山でのコンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブナの森ウォーク ・大山登山 ・ダウンヒルサイクリング 	

■ 1. 企画開発会議【大山地区】

第四回	日時	2019年9月3日（火） 13：00～15：00
	場所	JTB松江支店
	出席者	コーディネーター 松本、圓山 株式会社 J T B 上杉
	議題	①モニターツアーについて ②AT（アドベンチャーツーリズム）について
内 容	<p>現地調査をうけて、日南町での体験は危険と判断された「若松クローム鉱山廃墟ツアー」を除く3つのコンテンツを磨きあげることとした。</p> <p>オオサンショウウオ保全体験では、現地調査での専門家の意見もあり、昼間の環境視察、座学を取り入れた、14時～20時くらいのスケジュールを検討すること。地元の協力を得て、昼食・夕食を提供する中で交流時間を提供することをお願いする。</p> <p>民泊家庭に関しては、最低3軒の受入れ家庭をお願いする。外国人にとって日本の家庭にとまり交流を深めることは、貴重な体験となるため、引き続き受入れ家庭の募集をお願いする。</p>	

第五回	日時	2019年9月18日（水） 14：00～15：00
	場所	日南町役場
	出席者	日南町 古川 日南町観光協会 山本事務局長 株式会社 J T B 上杉
	議題	モニターツアーについて スケジュール案の確認
内 容	<p>現地調査をうけて、日南町での体験は危険と判断された「若松クローム鉱山廃墟ツアー」を除く3つのコンテンツを磨きあげることとした。</p> <p>オオサンショウウオ保全体験では、現地調査での専門家の意見もあり、昼間の環境視察、座学を取り入れた、14時～20時くらいのスケジュールを検討すること。地元の協力を得て、昼食・夕食を提供する中で交流時間を提供することをお願いする。</p> <p>民泊家庭に関しては、最低3軒の受入れ家庭をお願いする。外国人にとって日本の家庭にとまり交流を深めることは、貴重な体験となるため、引き続き受入れ家庭の募集をお願いする。</p>	

■ 1. 企画開発会議【大山地区】

第六回	日時	2019年10月27日（日） 10：00～15：30
	場所	江府町、日南町
	出席者	NPO法人日本ハンザケ研究所 岡田理事長 コディネーター 圓山 株式会社 J T B 上杉
	議題	①現地視察（大山・江府町） ②現地視察（日南町）
内容	日南町で受入れをしてもらう岡田先生と、大山地区で受入れをもらう圓山さんと、それぞれが案内する場所で現地視察をお互いに実施してもらった。それぞれが情報を交換し、お互いに伝えたいストーリーを確認してもらい、水と環境について共通認識を持ってもらった。	

第七回	日時	2019年10月27日（日） 10：00～15：30
	場所	江府町、日南町
	出席者	NPO法人日本ハンザケ研究所 岡田理事長 コディネーター 圓山 株式会社 J T B 上杉
	議題	①現地視察（大山・江府町） ②現地視察（日南町）
内容	<p>東京での有識者会議、現地調査を受け、モニターツアーで提供するコンテンツの最終調整。 ブナ森ウォークのコース変更。峠からブナの林、車道を歩き木谷沢溪流のコースへ変更し時間を十分とることになる。おもてなしとして、湧き水を利用し抹茶をたて提供する。</p> <p>大山登山について、前回東京でのアドベンチャーツーリズムの研修を受け、環境への配慮からペットボトルでの水の提供ではなく他の方法を再度検討してもらう。山岳信仰の観点から山頂でお神酒を用意しておく。手作りの味噌玉を利用した味噌汁を提供する。お茶は地元栽培の大山茶を用意。</p> <p>ダウンヒル体験コース完成。乗馬クラブにて地元の方との焚火を囲んだ交流をいれた。昼食では地元ローカルレストランの食事に市場で売っている魚をお刺身にしてもらう。</p>	

■ 1. 企画開発会議【大山地区】

第八回	日時	2019年11月7日（木） 13：30～15：00
	場所	日南町役場
	出席者	日南町 古川 日南町観光協会 山本事務局長 NPO法人日本ハンザケ研究所 岡田理事長 株式会社 J T B 上杉
	議題	モニターツアーについて
内 容	<p>昼食メニュー、手打ちそばと地元の食材を利用したものを提供。</p> <p>オオサンショウウオ保全体験について、昼食後、展示室での説明、源流への移動、座学、夕食、保全体験の流れとなる。</p> <p>有識者会議でのアドバイスで、座学に地元のトマトジュースを提供することになる。夕食時の交流は1軒で全員が夕食をとり民泊家庭も参加交流。</p> <p>新たに見つかったオオサンショウウオには、チップを埋め込み発見者の名前をつけ、後の保全活動の時に確保された場合は、発見者に報告するサービスを提供する。</p> <p>古民家では、コーヒーを提供しできるだけゆっくりとしてもらう。</p>	

内 容	日時	2019年11月15日（金） 14：30～15：30
	場所	由志園
	出席者	日南町 古川 コーディネーター 松本、圓山 専門家 イザベル、サイド、柴田、リサ、中薮 （一社）山陰インバウンド機構 石橋シニアマネージャー 株式会社 J T B 高梨
	議題	モニターツアーを受けてコンテンツについて様々な意見を頂戴した。 議事録内容はモニターツアーアンケートの項（60 p～）に含み記載

■ 1. アドベンチャーツーリズム講演会概要	35
■ 2. 山陰地域におけるアドベンチャーツーリズムの可能性	39
■ 3. 有識者会議の開催	40

1. アドベンチャーツーリズム講演会概要

アドベンチャーツーリズムの日本側事務局「JTB総合研究所」山下氏を迎え、隠岐・米子で各1回ずつアドベンチャーツーリズムに関する講演を行い、受入れ側の事業者に対してその考え方を理解してもらった。

隠岐諸島	日時	2019年9月5日（木） 10：30～12：30																			
	会場	隠岐合同庁舎 6階 大会議室（先着40名） 島前集合庁舎 2階 第3会議室（先着25名）																			
	参加費	無料																			
	内容	隠岐の島では、隠岐の島町「島後」を会場として、「島前」の会場にはネットで講演を中継した。隠岐の島観光協会を通じ、4町村の観光関係者に参加をお願いした。観光協会など16名が参加。																			
参加者	隠岐合同庁舎																				
	<table border="0"> <tr><td>1 隠岐の島商工会</td><td>和田 進</td></tr> <tr><td>2 隠岐旅工舎</td><td>八幡 洋公</td></tr> <tr><td>3 隠岐旅工舎</td><td>中西 智之</td></tr> <tr><td>4 隠岐旅工舎</td><td>篠原 若菜</td></tr> <tr><td>5 隠岐プラザホテル</td><td>横地 廉平</td></tr> <tr><td>6 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会</td><td>小池 愛子</td></tr> <tr><td>7 隠岐の島町観光協会</td><td>井上 朋張</td></tr> <tr><td>8 隠岐の島町観光協会</td><td>中井 康輔</td></tr> <tr><td>9 隠岐の島町観光協会</td><td>井崎 進</td></tr> <tr><td>10 海士町観光協会</td><td>森山 敬介</td></tr> </table>	1 隠岐の島商工会	和田 進	2 隠岐旅工舎	八幡 洋公	3 隠岐旅工舎	中西 智之	4 隠岐旅工舎	篠原 若菜	5 隠岐プラザホテル	横地 廉平	6 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会	小池 愛子	7 隠岐の島町観光協会	井上 朋張	8 隠岐の島町観光協会	中井 康輔	9 隠岐の島町観光協会	井崎 進	10 海士町観光協会	森山 敬介
1 隠岐の島商工会	和田 進																				
2 隠岐旅工舎	八幡 洋公																				
3 隠岐旅工舎	中西 智之																				
4 隠岐旅工舎	篠原 若菜																				
5 隠岐プラザホテル	横地 廉平																				
6 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会	小池 愛子																				
7 隠岐の島町観光協会	井上 朋張																				
8 隠岐の島町観光協会	中井 康輔																				
9 隠岐の島町観光協会	井崎 進																				
10 海士町観光協会	森山 敬介																				
	島前集合庁舎																				
	<table border="0"> <tr><td>1 一般社団法人西ノ島町観光協会</td><td>中山 佳昭</td></tr> <tr><td>2 一般社団法人西ノ島町観光協会</td><td>土井 康生</td></tr> <tr><td>3 一般社団法人西ノ島町観光協会</td><td>リーマイア</td></tr> <tr><td>4 知夫里島観光協会</td><td>錦織 博</td></tr> <tr><td>5 知夫里島観光協会</td><td>竹川 千里</td></tr> <tr><td>6 海士町観光協会</td><td>榎本</td></tr> </table>	1 一般社団法人西ノ島町観光協会	中山 佳昭	2 一般社団法人西ノ島町観光協会	土井 康生	3 一般社団法人西ノ島町観光協会	リーマイア	4 知夫里島観光協会	錦織 博	5 知夫里島観光協会	竹川 千里	6 海士町観光協会	榎本								
1 一般社団法人西ノ島町観光協会	中山 佳昭																				
2 一般社団法人西ノ島町観光協会	土井 康生																				
3 一般社団法人西ノ島町観光協会	リーマイア																				
4 知夫里島観光協会	錦織 博																				
5 知夫里島観光協会	竹川 千里																				
6 海士町観光協会	榎本																				
																					
	【隠岐会場】	【米子会場】																			

■ 1. 講演会概要

大山地区	日時	2019年9月6日（金） 10：00～12：00
	会場	米子商工会議所7階 大会議室（先着50名）
	参加費	無料
	内容	一般社団法人山陰インバウンド機構を通じ、大山地域だけでなく、鳥取県・島根県全域の観光事業者へ参加をお願いした。県やインバウンド機構など23名が参加。
参加者	1 一般社団法人山陰インバウンド機構	福井 善朗
	2 南部町役場企画政策課	泉 絵梨子
	3 大山町観光課	権田 直樹
	4 大山町観光課	入江 英慎
	5 中海・宍道湖・大山圏域市長会	中瀬 宏
	6 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局	實重 英紀
	7 日南町観光協会	山本 真也
	8 鳥取県西部総合事務所	石原 恵一
	9 中国運輸局	小桝 早紀
	10 中国運輸局	倉迫 なつみ
	11 島根県観光振興課	勝部 孝子（欠席）
	12 島根県観光振興課	板垣 譲次（欠席）
	13 環境省大山隠岐国立公園管理事務所	田中 国彦
	14 環境省大山隠岐国立公園管理事務所	中川 由美
	15 皆生温泉旅館組合	前田 靖
	16 一般社団法人山陰インバウンド機構	青山 佳生
	17 米子商工会議所	濱田 駿
	18 福間館	福間 治
	株式会社JTB松江支店	宮木 敏行
	株式会社JTB松江支店	松本 英朗
	株式会社JTB松江支店	阪本 健吾
	株式会社JTB松江支店	坂口 寛
	株式会社JTB松江支店国内仕入商品事業部	加藤 綾

1. 講演会概要(資料)

配布資料

アドベンチャーツーリズムの 世界の潮流と日本で可能性 ～山陰地域の自然・文化を活かした 体験型ツーリズムの方向性を考える～

株式会社JTB総合研究所
交流戦略部長
首席研究員
山下 真輝

JTB総合研究所

■増加する訪日外国人旅行者

＜国別・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比＞

2018年 訪日外国人旅行消費額 (速報) **45,064億円**

国別・地域別の訪日外国人旅行消費額をみると、中国が1兆5370億円(構成比34.1%)と最も大きく、次いで韓国5842億円(13.0%)、台湾5839億円(13.0%)、香港3355億円(7.4%)、米国2890億円(6.4%)の順であり、これら上位5カ国・地域で全体の73.9%を占める。

訪日外国人旅行消費額(億円)の推移

訪日外国人旅行客数(万人)の推移

■アドベンチャーツーリズムとは

アドベンチャーツーリズム(以下、AT)は、自然や文化といった軸ではエコツーリズムやグリーンツーリズムと共通項を持つものの、アクティビティを通じて地域の文化と自然を体験して、自身の成長・変革と地域経済への貢献を実現する旅のあり方。

アドベンチャーツーリズム
約1兆円
FUNDAMENTAL AT

アクティビティを通じて文化と自然を体験するといふ旅行体験を促進する市場の拡大等。

エコツーリズム
500億円

資源の保護・観光業の成立・地域経済の発展を目的とする観光の考え方であり、社会貢献・サステナビリティを重視。

グリーンツーリズム
43億円

職業体験の要素が中心にあり、それを通じて自然や文化にも触れ合うといった観光の形態を持つ活動。

アクティビティ

自然 文化

歴史

自然 文化

農林水産業

自然 文化体験

異文化(「エンターテインメント」食の地産地消)等も含まれる。自然をアクティビティを通して体験する旅行全体が総合的に「進歩的に包含されており、経済圏拡大の寄与が大いである」

注: ATTA 1st-7th, UNWTO Global Report on Adventure Tourism | 国土交通省観光庁観光振興課観光政策課(2018年12月)

■アドベンチャートラベルの定義から考える「旅の経験価値」

その地域の「自然」「文化」「アクティビティ」を通じて、旅行者にパーソナルな経験を提供するアドベンチャートラベルの考え方や、訪日外国人旅行者に提供していく旅行商品の企画する。

Essential Elements
本質的な要素

Traveler Experience
旅行者の経験

【資料出所】Adventure Travel Trade Association

目次

- 1 観光立国推進の背景
- 2 日本におけるアドベンチャーツーリズムの可能性
- 3 アドベンチャーツーリズムの考え方
- 4 今後のアドベンチャーツーリズム推進体制について
- 5 持続可能な観光振興・・・SDGsとツーリズム

■我が国が持つ「観光先進国」への可能性

気候

自然

食

文化

我が国は、観光振興に必要な4要素、すなわち、「気候」「自然」「食事」「文化」が全て揃っている。フランスと並んで世界でも稀な存在である。

「気候」スキー・ビーチリゾートを兼ねる風土

「自然」手つかずの自然、山岳、豊富な動植物

「食」世界文化遺産の「和食」、質の高い洋食

「文化」和の伝統文化、現代文化

【出所】観光庁資料

■AT市場のグローバルなキープレイヤーであるATTA

ADVENTURE TRAVEL TRADE ASSOCIATION

アドベンチャートラベルの持続的な発展を目標として、様々なネットワークやソリューションの提供を行っていくことを目的とした団体

- 100ヶ国1300会員からなるAT領域最大の協会
Adventure Travel Trade Association (以下ATTA)は、1990年に設立された世界最大のアドベンチャーツーリズム関連団体。各国・地域のメディア、政府観光局、観光協会、DMO、ツアーオペレーター、アウトドアメーカー等で構成され、およそ100ヶ国から1300名会員を擁する。
- 調査分析、ネットワーク、データベース構築を支援
業界の発展のための各種活動(調査分析・会員層の3カテゴリー構築・データベース構築等)を行っている。UNWTO(国連世界観光機関)と共同でGlobal Report on Adventure Tourismを発行するなど世界でも権威のあるアドベンチャーツーリズム情報提供に貢献している。
- 良質なAT関連会員向けプロモーション機会を提供
本ATTAは特設する「世界最大の会員向けフェア(ATTA)」上で広報が出来る。ナショナル・ラジオ・ウェブやフェイスブックに関する一連のライターや写真家、映像作家、BBCなどの放送局関係者などのメディア関係者が多くいる。

ATTAの組織としてのビジネスモデル

- 会員事業
- コンサルティング
- トレードショーの開催
ADVENTURE TRAVEL WORLD SUMMIT
ADVENTURE ELEVATE
ADVENTURE NEXT

注: ATTA 1st-7th, JTBAdventureElevate | ATTAは世界最大のアドベンチャーツーリズム情報提供団体

【参考】アドベンチャー・ツーリズムにおける旅行商品のストーリーづくり

プロローグ：序章	展開部	ピーク部	エピローグ：終章
ツアー全体コンセプト確認 その中で最大のストーリーポイント設定	展開部パートでの期待感アップの準備 アクティビティの準備 展開部での文化・情報提供	全体のストーリーを貫通した展開部でのポイント設定 展開部パートを含む体験	クライマックスの体験を最大にするための設定 展開部での文化・情報提供
ツアー全体のコンセプト確認	展開部パートでの期待感アップの準備	全体のストーリーを貫通した展開部でのポイント設定	クライマックスの体験を最大にするための設定

AT旅行ガイド

感情曲線

今後訪日外国人旅行者を取り込むためには、日帰りの着地型商品ではなく、自然・文化・アクティビティを組み合わせて、地域ストーリーを伝えていく複数日間の旅行商品の提案が必要となる！

1. 講演会概要(案内リーフ)

隠岐会場

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ
滞在型 山陰商品開発事業

セミナー講演

**アドベンチャーツーリズムの
世界の潮流と日本での可能性
～山陰地域の自然・文化を活かした
体験型ツーリズムの方向性を考える～**

日時 2019年9月5日(木) 10:30～12:30

会場 隠岐合同庁舎 6階 大会議室 (先着40名)
島前集合庁舎 2階 第3会議室 (先着25名)
※島前集合庁舎はテレビ会議システムでの講演となります。

参加費 無料

講師紹介 山下真輝氏
(株)JTBC総合研究所 主席研究員
コンサルティング事業部 交流戦略部長



観光による地域活性化のための計画・戦略の策定、人材育成、旅行商品開発を専門とする。近年はスポーツツーリズム、アドベンチャーツーリズム分野の調査研究も手掛ける。内閣府地域活性化推進部として全国の観光振興政策を支援。
【経歴】
1993年株式会社ジェイティービーに入社。観光を基軸とした地域活性化を進める地域交流プロジェクトをJTBCで推進し、全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。2017年にJTBC本社日本館DMOサポーター委員として全国各地のDMO形成に関わり、2018年4月より現職。内閣府地域活性化推進部所属。

【主な公職・委員】
・内閣府 地域活性化推進部(2014年～)・スポーツ・スポーツツーリズム官民連携協議会 委員(2017年～)
・一般社団法人日本食文化観光推進機構 常務理事(2017年～)・NPO法人隠岐山陰観光振興機構 理事(2014年～)
・DMO推進機構 理事(2017年～)・福岡市宿泊振興に関する検討委員会 委員(2018年)

募集およびお問い合わせ
株式会社JTBC松江支店
住所：島根県松江市中町4-17-17
電話：0852-23-6720 FAX：0852-23-7739
担当：上杉、高梨 横 E-mail:k_usug@jtb.co.jp(上杉)

※前の中込書をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

米子会場

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ
滞在型 山陰商品開発事業

セミナー講演

**アドベンチャーツーリズムの
世界の潮流と日本での可能性
～山陰地域の自然・文化を活かした
体験型ツーリズムの方向性を考える～**

日時 2019年9月6日(金) 10:00～12:00

会場 米子商工会議所7階 大会議室
島根県米子市加茂町2-204 TEL:0859-22-5131

参加費 無料

講師紹介 山下真輝氏
(株)JTBC総合研究所 主席研究員
コンサルティング事業部 交流戦略部長



観光による地域活性化のための計画・戦略の策定、人材育成、旅行商品開発を専門とする。近年はスポーツツーリズム、アドベンチャーツーリズム分野の調査研究も手掛ける。内閣府地域活性化推進部として全国の観光振興政策を支援。
【経歴】
1993年株式会社ジェイティービーに入社。観光を基軸とした地域活性化を進める地域交流プロジェクトをJTBCで推進し、全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。2017年にJTBC本社日本館DMOサポーター委員として全国各地のDMO形成に関わり、2018年4月より現職。内閣府地域活性化推進部所属。

【主な公職・委員】
・内閣府 地域活性化推進部(2014年～)・スポーツ・スポーツツーリズム官民連携協議会 委員(2017年～)
・一般社団法人日本食文化観光推進機構 常務理事(2017年～)・NPO法人隠岐山陰観光振興機構 理事(2014年～)
・DMO推進機構 理事(2017年～)・福岡市宿泊振興に関する検討委員会 委員(2018年)

募集およびお問い合わせ
株式会社JTBC松江支店
住所：島根県松江市中町4-17-17
電話：0852-23-6720 FAX：0852-23-7739
担当：上杉、高梨 横 E-mail:k_usug@jtb.co.jp(上杉)

※前の中込書をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

先着 50名様

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ
滞在型 山陰商品開発事業

セミナー講演

参加申込用紙

所属:	氏名:
連絡先FAX番号またはメールアドレスをご記入ください。	
希望会場どちらかに○印をおつけください。	
○ 隠岐合同庁舎	○ 島前集合庁舎
※受付返信に利用させていただきます。	

お手紙をお返しが8月29日(木)までにFAXまたはメールにてご返信ください。ご不明な点ありましたら弊社担当までご連絡ください。
参加者が複数名の場合、書式をコピーして記入お申込みください。
※受付完了しましたら、FAXまたはメールにてご返信いたします。

FAX：0852-23-7739
メール：sanin@jtb.com

【問い合わせ先】 株式会社JTBC松江支店 〒690-0003 松江市中町4-17-17 担当：高梨、上杉、横 0852-23-6720	【主催者記入欄】 お申込みありがとうございます。 -ご参加受付いたしました。 -参加者多数のため申込をお受けできません。 <受付印>
--	--

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ
滞在型 山陰商品開発事業

セミナー講演

参加申込用紙(米子)

所属:	氏名:
連絡先FAX番号またはメールアドレスをご記入ください。	
※受付返信に利用させていただきます。	

お手紙をお返しが8月29日(木)までにFAXまたはメールにてご返信ください。ご不明な点ありましたら弊社担当までご連絡ください。
参加者が複数名の場合、書式をコピーして記入お申込みください。
※受付完了しましたら、FAXまたはメールにてご返信いたします。

FAX：0852-23-7739
メール：sanin@jtb.com

【問い合わせ先】 株式会社JTBC松江支店 〒690-0003 松江市中町4-17-17 担当：高梨、上杉、横 0852-23-6720	【主催者記入欄】 お申込みありがとうございます。 -ご参加受付いたしました。 -参加者多数のため申込をお受けできません。 <受付印>
--	--

2. 山陰地域におけるアドベンチャーツーリズムの可能性

1) 全体戦略の必要性

山陰地域全域において欧米市場からの誘客を図るための中長期的な戦略づくりが必要です。まずは現状をしっかりと整理する必要がありますので、山陰インバウンド機構の戦略の中身を確認しながら、ATデスティネーションとしてのポテンシャルを評価していき、日本全体を俯瞰した上で、コンセプト案を考えていく必要があります。

現在のコンセプトである「縁の道」では、AT顧客には訴求しづらいと思いますので、日本の中の位置づけを改めて考えた上で、欧米の旅行者に理解しやすいコンセプトは何かを考えていく必要があります。神話は欧米市場では分かりづらく、九州でも理解されなかった。現在ATを進めている北海道、長野県、九州、沖縄県との差別化要素を改めて整理しながら、コンセプトづくりをする必要があります。

2) 山陰地域の象徴的なツアーづくり

4泊5日～5泊6日程度で、日本における山陰地域の価値を体感してもらふ象徴的なツアーをつくっていく必要があります。今回企画された大山のエコツアーだけでは、局地的であり、かつ全体的なストーリー性に欠けるので、全体コンセプトに合わせたツアー行程を作成していく必要があります。

現地発着の旅行代金が、北米旅行者で平均3,000ドル程度でしたが、そこまで高くなくてもそれなりの金額を支払う旅行者をターゲットとしていきます。

ツアーのブラッシュアップについては、ATTA関係者によるファミトリップを行った上で、内容についての評価と改善点のフィードバックを受けていく必要があります。

3) 広域にコーディネートできるDMCの存在

ATTAのジェイク部長は、アラスカでTRU Adventure Travelという旅行会社を経営しています。

地域に根付き、現地発着のツアーを企画する旅行会社であり、まさにDMCとして活動しています。

アラスカツアーでは、8日間のAT商品を企画していますが、日ごとに様々なアドベンチャートラベル体験が盛り込まれており、それぞれのスポットでツアーを運営してくれるベンダー（事業者）の存在があり、トータルでコーディネートしているのが、DMCということになります。

山陰地域をトータルでコーディネートし、ATTA加盟の旅行会社にB2Bで商品を提供できるかどうかが問われます。このDMCの存在が、地域でATが推進できるかの鍵となります。

またDMCのコーディネーターの存在は極めて重要になり、英語力も問われますが、AT旅行者が求めるものを熟知した上で、ツアーに同行しながら、トータルコーディネートしなければなりません。

4) ベンダー（事業者）の育成

スポットごとの事業者のレベルアップも必要になります。AT旅行者の求める体験価値をしっかりと理解した上で、1日の中でもストーリー展開が必要です。英語対応も必要になりますが、英語力よりも、地域のストーリーを語れることが大事になります。日々いろいろな体験が出てきますが、それぞれにベンダーが受入れを行っており、満足度の高い体験を提供してくれます。

5) ATTAとのネットワーキング

ATについてはデジタルマーケティングによるB2Cではなく、ATTA加盟の欧米の旅行会社へのB2Bによるセールス活動が必要となります。ATTA関係者によるファミトリップ及び商談会の場づくりを兼ねたAdventure Weekを実施することが最も効果的です。

またATの国際大会であるATWSに参加し、ネットワーキングを行っていくことも必要です。

3. 有識者会議の開催

大山・隠岐でモニターツアーにむけ造成している企画を、欧米豪市場に対する知見のある有識者に対しプレゼンテーションを行った。

頂戴した意見や課題は、モニターツアーや企画開発会議の参考とし、コンテンツ開発、ツアー造成に繋げた。

■ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 外国人有識者アドバイス会議 次第

【事業名：隠岐の島で過ごす ジオパークの離島暮らし・島人交流旅】																																											
日時	2019年9月26日（木） 15:45～17:00																																										
場所	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 4階 ミーティングルーム「4H」																																										
主催	株式会社JTB																																										
出席者 順不同 敬称略	東京において、外国人有識者や観光庁登録専門家に対して、隠岐観光協会とともにプレゼンを行い、参加者からのアドバイスを頂戴した。会議には14名が参加。																																										
参加者	<table border="0"> <tr> <td>国土交通省観光庁 外国人有識者</td> <td>登録専門家</td> <td>アリス・ゴードンカー</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁観光地域振興課</td> <td>広域連携推進室長兼観光地域づくり法人支援室長</td> <td>檜垣 敏</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁観光地域振興課</td> <td>広域連携推進室兼観光地域づくり法人支援室係長</td> <td>橋本 愛</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁</td> <td>登録専門家</td> <td>林 岳則</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁</td> <td>登録専門家</td> <td>佐藤 友里恵</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁</td> <td>登録専門家</td> <td>井出 浩二</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人山陰インバウンド機構</td> <td>代表理事</td> <td>福井 善朗</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人山陰インバウンド機構</td> <td>事業本部長</td> <td>青山 佳生</td> </tr> <tr> <td>島根県観光振興課</td> <td>調整監</td> <td>勝部 考子</td> </tr> <tr> <td>雲南市</td> <td>観光振興課主幹</td> <td>鈴木 佑里子</td> </tr> <tr> <td>隠岐観光協会</td> <td>事務局長</td> <td>角橋 隼人</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人日南町観光協会</td> <td>事務局長</td> <td>山本 真也</td> </tr> <tr> <td>株式会社JTB</td> <td>事業推進担当部長</td> <td>林 勇一</td> </tr> <tr> <td>株式会社JTB</td> <td>プロデューサー</td> <td>上杉 謙一郎</td> </tr> </table>	国土交通省観光庁 外国人有識者	登録専門家	アリス・ゴードンカー	国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室長兼観光地域づくり法人支援室長	檜垣 敏	国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室兼観光地域づくり法人支援室係長	橋本 愛	国土交通省観光庁	登録専門家	林 岳則	国土交通省観光庁	登録専門家	佐藤 友里恵	国土交通省観光庁	登録専門家	井出 浩二	一般社団法人山陰インバウンド機構	代表理事	福井 善朗	一般社団法人山陰インバウンド機構	事業本部長	青山 佳生	島根県観光振興課	調整監	勝部 考子	雲南市	観光振興課主幹	鈴木 佑里子	隠岐観光協会	事務局長	角橋 隼人	一般社団法人日南町観光協会	事務局長	山本 真也	株式会社JTB	事業推進担当部長	林 勇一	株式会社JTB	プロデューサー	上杉 謙一郎
国土交通省観光庁 外国人有識者	登録専門家	アリス・ゴードンカー																																									
国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室長兼観光地域づくり法人支援室長	檜垣 敏																																									
国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室兼観光地域づくり法人支援室係長	橋本 愛																																									
国土交通省観光庁	登録専門家	林 岳則																																									
国土交通省観光庁	登録専門家	佐藤 友里恵																																									
国土交通省観光庁	登録専門家	井出 浩二																																									
一般社団法人山陰インバウンド機構	代表理事	福井 善朗																																									
一般社団法人山陰インバウンド機構	事業本部長	青山 佳生																																									
島根県観光振興課	調整監	勝部 考子																																									
雲南市	観光振興課主幹	鈴木 佑里子																																									
隠岐観光協会	事務局長	角橋 隼人																																									
一般社団法人日南町観光協会	事務局長	山本 真也																																									
株式会社JTB	事業推進担当部長	林 勇一																																									
株式会社JTB	プロデューサー	上杉 謙一郎																																									
次第	<table border="0"> <tr> <td>開会</td> <td>15:45～15:50</td> </tr> <tr> <td>①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告</td> <td>15:50～16:15</td> </tr> <tr> <td>②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス</td> <td>16:15～16:35</td> </tr> <tr> <td>③主催者および地元事業者からの回答説明等</td> <td>16:35～16:55</td> </tr> <tr> <td>④その他</td> <td>16:55～17:00</td> </tr> </table>	開会	15:45～15:50	①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告	15:50～16:15	②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス	16:15～16:35	③主催者および地元事業者からの回答説明等	16:35～16:55	④その他	16:55～17:00																																
開会	15:45～15:50																																										
①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告	15:50～16:15																																										
②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス	16:15～16:35																																										
③主催者および地元事業者からの回答説明等	16:35～16:55																																										
④その他	16:55～17:00																																										
	  																																										

■ 3. 有識者会議の開催

隠岐諸島の地域資源と課題

アドベンチャーツーリズムについて

- ・案内できるガイドや、ライセンスは非常に高い。日本では認定されるガイドはいない。世界の基準に追いつかないといけない。協会があって、それが認めないとならないというハードルの高さ。受け入れ・ガイドの質が高くないと認められない。今年度中に解決の道筋が立たないと、販売水準に達しない。企画提案コンセプトを見直して、クリアしてほしい。(福井氏)
- ・景色は素晴らしいが、アドベンチャーツーリズムになるか疑問。もう少しエキサイティングなものがほしい。(アリス氏)

ツアーのネーミング

- ・日本語のツアーネーミングはカッコいいが、英語でのネーミングはどうするか。そのまま訳してもつまらない。「Wide tradional oki-islands」とか、「Daisen geo history」とかカッコいいものを。(アリス氏)

ガイドについて

- ・福田さんは英語ができ、外国人の人のセンスがわかる。福田さんだと満足できると思う。
- ・福田さん以外の方はいるか。(檜垣)
 - 福田さんのガイドの件、懸念のとおり、ガイド専門は少ない、なおかつ英語対応は片手もない。ニコラさんとくわらい。ガイドの要請は急務であり、今年度10月から事業を開始する。3年くらいかけて、隠岐在住外国人を対象に、ジオパーク・観光の知識を持ったガイドを育て始めたところ。たちまち来年からATの受け入れ、というのは難しい。2, 3年後を目指して、段階を踏んでいく。(角橋氏)
 - 2, 3年後というのは少し変えてもらわないと。隠岐ならではの、今あるものを活用するなど、地域の方等からアドバイスもらってほしい。(檜垣氏)
- ・ガイドはツアー中4日間とおしてずっとついてくる。そのため、時間外労働が多くなる(上杉氏)

ドローンでの撮影

- ・鷲ヶ峰のハイキングや天空ウォーキングにて、ドローンを飛ばして、景観とともに記念写真を撮ってあげる。その写真をプレゼントし、FBにアップしてもらおう。自分がそんな素晴らしいところにいる、という映像がもらえれば満足度は上がる。(アリス氏)

食事について

- ・前回と違い、食事にメリハリがあってよい。(アリス氏)
- ・ベジタリアン対応は無理か。(アリス氏)

隠岐神社の夜参り

- ・私たちがやった和歌は少し特殊なので、こっちのほうがよい。(アリス氏)
- ・宗教的な理由で祈祷を嫌がる人がいれば、祈祷の際によけてもらう。(上杉氏)

雨対策について

- ・2日目のはげ山ガイドツアー、BBQの雨天時の代案を考えないといけない。(林氏)
- ・突き牛散歩体験についても、外国の方にどんな内容かわかってもらっていないといけない。どんな服装が必要か、足場の悪さなど、チェックがいる。(林氏)

■ 3. 有識者会議の開催

隠岐諸島の地域資源と課題

高校生との交流

- ・具体的に何を行うのか。
自分の家に連れていか、ただ高校の中で交流会をするのはつまらない。よく考えないといけない。(アリス氏)
- ・漁師との交流のほうがおもしろい(アリス氏)
- ・小学生との交流のほうがおもしろい。別事業で、給食体験を行った。日本の教育、自分で掃除したりなど。海外から興味を持たれている。以前行ったモニターツアーの評判は良かった。教育委員会との話し合いは難しいが、満足。(アリス氏)
- ・島の小学生と一緒に登校はどうか。距離があると思うので。(アリス氏)
- ・島の課題を話してくれる人がいれば面白い。お母さんたちから保育園が少ない、など。(アリス氏)
- ・旅行者のメリットは何か。(檜垣氏)
- ・高校生との交流はどこでもできるので、隠岐でしかできないものを。(檜垣氏)
- ・高校なら部活に参加しては。太鼓・弓・剣道など、日本伝統的な部活に参加し、国では体験できない部活。(アリス氏)
- ・平日は授業があるが、やってくれるのか。18時以降、隠岐神社と一緒にいくほうがよいかも。無理のないように、毎回毎回来られても対応できないでは難しいのでは。(井出氏)
- ・北海道ではアイヌを探るといふきちんと定義されたATがある。学校交流は目的ではない。ツアーの前に、見直しをすべき。(福井氏)

フェリー移動について

- ・隠岐の一番のアドベンチャーは「遠い島」ということ。今回の移動は、飛行機・高速船で遠さの体感がない。フェリーが「アドベンチャー」だった。見送りのテープが感動的。(アリス氏)
- ・フェリーの中に畳の部屋があるのも新鮮で、テレビがついていた以外はよかった。貸し枕なんてみんなびっくりする。アドベンチャーになりうる。(アリス氏)
- ・時間が限られているモニターツアーでは難しいかもしれないが、
実際の商品では、帰りでフェリーを使ってはどうか。別れのテープはすごく良い。小笠原でも感じた。(アリス氏)
- ・欧米豪は、移動ふくめて楽しいという考え方がある。アジア圏はまだ苦痛というイメージがあるが。(檜垣氏)
フェリーではなく、クルーズというと喜ばれる。ミニクルーズ。(井出氏)
- ・去っていく島をデッキで見送るのはとてもよかった。フェリーの中の食べ物も面白い。(アリス氏)
- ・3時間フェリーが苦痛でないというのは貴重な意見。(上杉氏)
- ・ただし、欠航が多い。(アリス氏)

販売について

- ・ネットで申し込みできるようにとあったが、各会社が用意するのか？官公庁が準備するのか？(アリス氏)
→官公庁はHPを持ってない。やるとしたら、JNTO、山陰DMOや地元など。(檜垣氏)
→作ったとしても、たどりつけない。日本の会社が外国人向けのページつくるときは失敗する。
説明が足りない。フォームページでの、半角・全角の切り替え、外国人の名前エラーが出る。(アリス氏)
- ・Google、Airbnbと組んでにアップする方法もある。(アリス氏)
→それには、特殊な話をしないとイケない。山陰DMOが中心になって。(檜垣氏)
- ・1つの方針として、売れる商品をつくるという指針がある。プロモーションはネットで行う。JNTOサイトも強くなっている。(福井氏)
- ・隠岐観光協会HPは見ています。いいHP作っている。隠岐は、申し込みフォームさえきちんとしていけば申し込みがあるはず。(アリス氏)
- ・4000万人、8兆円と言っている以上、デジタルマーケティングは課題。(檜垣氏)
- ・来年の秋以降、販売はそれぞれ、認知をもらうためJNTOに入り口を作り、地域を選んでもらう。という仕組みができればよい。各地域がぶら下がるように。(勝部氏)
→理解している。(福井氏)
どこでもできるものだと、別に隠岐でもなくてもよいとなってしまうので、隠岐ならではのもの、この地域のものを作ってもらおう。そうしないと、販売側もわざわざ隠岐を選ばない。(檜垣氏)
- ・隠岐ノ島を知らない人への説明は不足している。
ただ歩いて降りる、だけだとクリックされない。牛の真横を歩くということをアピールしないと。(井出氏)

■ 3. 有識者会議の開催

■ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 外国人有識者アドバイス会議 次第

【事業名：国立公園大山 大山の森が育む自然と山岳信仰】																																		
日時	2019年9月27日（金） 13:00～14:10																																	
場所	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 4階 ミーティングルーム「4H」																																	
主催	株式会社JTB																																	
出席者 順不同 敬称略	東京において、外国人有識者や観光庁登録専門家に対して、日南町観光協会とともにプレゼンを行い、参加者からのアドバイスを頂戴した。会議には11名が参加。																																	
参加者	<table border="0"> <tr> <td>国土交通省観光庁 外国人有識者</td> <td>登録専門家</td> <td>アリス・ゴードンカー</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁観光地域振興課</td> <td>広域連携推進室長兼観光 地域づくり法人支援室長</td> <td>檜垣 敏</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁観光地域振興課</td> <td>広域連携推進室兼観光 地域づくり法人支援室係長</td> <td>橋本 愛</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁</td> <td>登録専門家</td> <td>佐藤 友里恵</td> </tr> <tr> <td>国土交通省観光庁</td> <td>登録専門家</td> <td>井出 浩二</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人山陰インバウンド機構</td> <td>代表理事</td> <td>福井 善朗</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人山陰インバウンド機構</td> <td>事業本部長</td> <td>青山 佳生</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人日南町観光協会</td> <td>事務局長</td> <td>山本 真也</td> </tr> <tr> <td>三朝温泉観光協会</td> <td>地域おこし協力隊員</td> <td>リエヴェン・アントニー</td> </tr> <tr> <td>株式会社JTB</td> <td>訪日インバウンドビジネス推 進部 事業推進室長</td> <td>香取 早太</td> </tr> <tr> <td>株式会社JTB</td> <td>プロデューサー</td> <td>上杉 謙一郎</td> </tr> </table>	国土交通省観光庁 外国人有識者	登録専門家	アリス・ゴードンカー	国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室長兼観光 地域づくり法人支援室長	檜垣 敏	国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室兼観光 地域づくり法人支援室係長	橋本 愛	国土交通省観光庁	登録専門家	佐藤 友里恵	国土交通省観光庁	登録専門家	井出 浩二	一般社団法人山陰インバウンド機構	代表理事	福井 善朗	一般社団法人山陰インバウンド機構	事業本部長	青山 佳生	一般社団法人日南町観光協会	事務局長	山本 真也	三朝温泉観光協会	地域おこし協力隊員	リエヴェン・アントニー	株式会社JTB	訪日インバウンドビジネス推 進部 事業推進室長	香取 早太	株式会社JTB	プロデューサー	上杉 謙一郎
国土交通省観光庁 外国人有識者	登録専門家	アリス・ゴードンカー																																
国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室長兼観光 地域づくり法人支援室長	檜垣 敏																																
国土交通省観光庁観光地域振興課	広域連携推進室兼観光 地域づくり法人支援室係長	橋本 愛																																
国土交通省観光庁	登録専門家	佐藤 友里恵																																
国土交通省観光庁	登録専門家	井出 浩二																																
一般社団法人山陰インバウンド機構	代表理事	福井 善朗																																
一般社団法人山陰インバウンド機構	事業本部長	青山 佳生																																
一般社団法人日南町観光協会	事務局長	山本 真也																																
三朝温泉観光協会	地域おこし協力隊員	リエヴェン・アントニー																																
株式会社JTB	訪日インバウンドビジネス推 進部 事業推進室長	香取 早太																																
株式会社JTB	プロデューサー	上杉 謙一郎																																
次第	<table border="0"> <tr> <td>①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告</td> <td>13:00～13:25</td> </tr> <tr> <td>②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス</td> <td>13:25～13:45</td> </tr> <tr> <td>③主催者および地元事業者からの回答説明等</td> <td>13:45～14:05</td> </tr> <tr> <td>④その他</td> <td>14:05～14:10</td> </tr> </table>	①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告	13:00～13:25	②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス	13:25～13:45	③主催者および地元事業者からの回答説明等	13:45～14:05	④その他	14:05～14:10																									
①コンテンツ造成に向けた取り組み報告 および、モニタープラン設定計画報告	13:00～13:25																																	
②外国人有識者および観光庁専門家からの質疑、アドバイス	13:25～13:45																																	
③主催者および地元事業者からの回答説明等	13:45～14:05																																	
④その他	14:05～14:10																																	

■ 3. 有識者会議の開催

大山地区の地域資源と課題

民泊での受け入れ課題

- ・英語対応（青山氏）
- ・個人スペースの確保、共有スペース使用時の配慮（アリス氏）
- ・グループで別々の宿泊になる（アリス氏）→グループ6人すべて同じ家での受け入れは難しい。部屋が多くあれば可能だが、プライベート空間の確保が必要。（上杉氏）
- ・上記の問題があるが、受け入れ環境を考えると民宿よりも一般家庭のほうが風呂トイレの環境がよい。（上杉氏）

とやま旅館について

- ・料理はいいが、信仰の山というイメージを強めるには山楽荘のほうがよい（アリス氏）

ツアータイトルについて

- ・「1709から0」は、数字が単なる商品番号に見え、理解されづらいのでは。「Daisen top to bottom」はどうか。（アリス氏）
- ・自然なのか山岳信仰なのか不明、分けたほうがいいのでは。（檜垣氏）
- ・山岳信仰であれば、大山と三徳山。（アリス氏）
→高野山や熊野古道に行く人たちもターゲット層になる。（檜垣氏）

ターゲット

- ・60代まで行けるのでは、そのほうが売りやすいと思う。（アリス氏）

皆生温泉宿泊について

- ・大山にホテルやペンションがあるのになぜ皆生温泉。（アリス氏）
→最初に民泊、次に宿坊、ホテルでもいいが、そこに温泉があって、ゆっくりしてほしいという希望から。（上杉氏）
- ・ペンションだんだんはきのご料理を出してくれ良かった。（アリス氏）
- ・個人的に皆生は好きじゃない。海がきれいでないし、昔の昭和の日本人団体向けのイメージであまり面白くない。（アリス氏）

再現性

- ・2日目以降については、ガイドの問題はあるがいつでも組み立てられる。
1日目の先生がフックだと思っている。都合がつく日しか受け入れできない。（上杉氏）
- ・オオサンショウウオとは違う、対になれるようなものオプションが必要では。
掘り起こせばほかの素材もありそう。シャワークライミングもおもしろかった。（檜垣氏）
- ・冬は雪が深く立ち入れないなど、自然の厳しさがあるがそれでも見たい人は来る。
ターゲットを変えつつ時期に応じたものを。夏はシャワークライミングを年齢層問わず楽しめる。季節に応じて体験メニューをかえていけるのであれば、四季折々の大山の商品ができないか検討してほしい。（山本氏）

ダウンヒル時の地元交流について

- ・以前の地元交流はうまくいかなかった。誰もいなかったり、対応が悪かった。
木からリンゴを取る体験は自分の国でもできる。（アリス氏）
→このツアーでは、圓山、松本が事前にアポ取りを行う。
- ・どんな交流をするのか検討が必要。
→昔、山羊を飼っていた名物のおばさんがおり、そこでお茶をいただく。（上杉氏）
- ・香取村のヨーグルト工場は昔の写真もあって飲むヨーグルトも面白かった。
同じ村にどぶろくを作っているくるまさんもいて、珍しい。
古い小学校がカフェになっていた。なんか少し面白いものでないと（アリス氏）。

■ 3. 有識者会議の開催

大山地区の地域資源と課題

ティーブレイク、コーヒブレイクについて

- ・ブナの森ウォークでは川から水を汲みそこで沸かす。
大山山頂では、あらかじめ汲んできた水と、大山でとれる紅茶を使ってティーブレイク。(上杉氏)

2日目の夜について

- ・山楽荘で、夜の空いた時間に何か入れてほしい。(青山氏)
せっかく山楽荘に泊まるなら、写経体験、写佛体験、座禅などはどうか。
- ・星はあまり興味がない。日本と外国では星の名前が違う。外国人へのPRはむずかしい。(アリス氏)

オオサンショウウオというコンテンツについて

- ・オオサンショウウオは英語名「ジャパニーズジャイアンツサラマンダー」。
世界一大きい両生類という売りがある。この大きさは他になく、生きている化石としても珍しい。(アリス氏)

販売イメージ

- ・ワンストップでだれが売れるイメージなのか。(青山氏)
→受け手側は日南地区・大山地区と別れている。窓口としてJTBBが受けて、ふりわけせざるを得ない。(上杉氏)

地域での消費促進

- ・山陰全体の課題感として、消費の機会がない。
固有の資源をつかうなら、地元にお金落ちるとするのが重要。
富裕層がくるのにお金を使わないのはもったいない。富裕層を誘致する目的がない。(福井氏)
- ・大山はモンベルの店がある。
お土産屋さん「参道市場」ができたが、セクションは外国人向けではない。(アリス氏)
- ・モニターツアーで、外国人にうける場所を探してほしい。(福井氏)
- ・民泊で日南町にお金をおとしてもらう。岡田先生の希望で古民家で料理する際に、デザインもんぺを着てもらい、気に入れば買ってほしい。
- ・男性女性用両方ある、手作りなので値段は高く15000円程度。(上杉氏)
→サイズ展開を広く作ってほしい。(アリス氏)
→値段は高いが、本物であれば説明すればわかる。(檜垣氏)
- ・例えば、民泊の際にそこをショールームにしている置かせてもらう。(檜垣氏)
- ・日南町の道の駅にあるトマトソフトは話題になる。トマトジュースもある。(アリス氏)

英語対応について

- ・英語言語対応が課題となっていると思う。受注型なら可能だが、FITで問い合わせが入った場合の対応。
今後対応を迫られる。想定してやってほしい。(福井氏)
- ・和歌山県田辺市では、スタッフ23人中20人が英語が話せる。この人たちは地元から見つけてきている。
そういう人はちゃんといるので見つけてこないといけない。
いろんな人がいると思うので、サポーター制度など接点を。(檜垣氏)
- ・役場や協会での対応は必要。言語と合わせて、広域での対応を。(福井氏)

4日目について

- ・これだけ自然をみてきて、最後に近代的な観光地施設をみるのはもったいない。(井出氏)
→今回のモニター参加する在日外国人へのねざらいの気持ちとして設定。(上杉氏)
- ・ツアーの最後は、山に登って海を見て、最後に海側から山をみる。それでしめたほうがよいのでは。(井出氏)

■ 1. モニターツアー【隠岐諸島】	47
■ 1. モニターツアー【大山地区】	50
■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】	53
■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】	60

有識者会議を経て、取り纏められた意見や課題を参考にモニターツアーを隠岐諸島、大山地区で実施した。専門家を招請し、体験メニューの評価とコメントを得た。

1. モニターツアー【隠岐諸島】

「隠岐諸島」にて、下記の内容で実施した。

- ①調査対象エリア 島根県隠岐諸島
- ②調査時期 2019年10月8日（火）～10月11日（金）
- ③招請者 Said Karlsson 氏（プロフィールP.8）
柴田 恵理子 氏（プロフィールP.8）
Katherine(Kit) Pancoast 長村 （プロフィールP.9）
Denis Chia （プロフィールP.9）
Isabelle MASSABO マサボ イザベル（プロフィールP.9）



1. モニターツアー【隠岐諸島 1～2日目】

ジオパークの離島暮らし・島人交流旅

旅行期間：2019年10月8日（火）～10月11日（金）4日間

参加人員：専門家5名 JTB1名 インバウンド機構1名 計7名

日	月日(曜)	時刻	予 定 (宿泊地)	食 事
1	10月8日 (火)	7:30 9:45 10:00~12:50 13:30~17:30 17:30 18:30~20:30	羽田空港より出雲空港経由で隠岐ジオパーク空港へ 羽田 7:30 (JAL277) 8:55 出雲空港 JTB 上杉 出雲空港 9:15 (JAC3433) 9:45 隠岐空港着 Storyteller: 福田 MR 出迎え JTB 上杉 ～島後・隠岐の島町 離島暮らし体験 島人交流～ 隠岐自然館：八幡 MR 4日間の行程、コンセプト、隠岐全体の説明 自然館内見学 館内ガイドによる説明 ジオパーク学習 離島暮らし 港町西郷を～町ぶら散歩(西町)～ 港町についての解説し歩いて食事箇所へ 隠岐の民謡流れる民家「香月堂 月あかりカフェ」で昼食。※ 隠岐そばと炊き込みご飯 ⇒コーヒープレイク ジャンボタクシーにて移動 島暮らし体験 油井地区(10軒くらいの集落)にて、島人②地元漁師の方 貝採りや集落をご案内します。 ゆっくり小さな集落でお過ごしください。 ホテル着 タクシー5分で夕食場所へ移動します。 民家にて夕食。隠岐の島の新鮮なお魚を召し上がっていただきます。 【ホテル】羽衣荘	朝：× 昼：民家 カフェ 和食 夕：和食 回線
2	10月9日 (水)	6:20~7:20 8:30 9:00~9:20 10:00~12:00 13:00 13:20~14:36 14:40~16:40 16:40	～離島暮らし体験 島人交流～ 突牛散歩体験 牛舎まで徒歩にて移動 毎朝の日課「突き牛の散歩」に、突き牛を守る島人と、牛と散歩に出かけます。30分くらいの散歩となります。牛のブラッシングと餌やりを経験し、島人の牛にたいする愛情を感じてもらいます。 ホテルに帰り朝食。 ホテル発 ジャンボタクシーにて移動 突き牛観戦 モーモードームにて突き牛の観戦 特別公演 ～ジオパーク体験自然と共に暮らす～ 鷲ヶ峰トレッキング 山ガイドと合流 標高563mの鷲ヶ峰展望台を目指します。展望台からは三方が断崖でスリル満点。 昼食はお弁当となります。 移動 西郷港へ 西郷港着 高速船から内航船を乗り継いで、知夫里島へ 西郷 13:20 (高速船) 13:55 別府港 14:10 (内航船) 14:36 来居港 ～ジオパーク体験自然と共に暮らす 島の成り立ち～ 赤崖と赤ハゲ山ガイドツアー 断崖絶壁の赤崖と島前のカルデラを一望する赤ハゲ山で島の成り立ちを感じます。 ホテル着 ※夕食は、満点の星空の下、島素材のバーベキュー 島民との交流 【ホテル】ホテル知夫の里	朝：ホテル 洋食 昼：お弁当 夕：BBQ

■ 1. モニターツアー【隠岐諸島 3～4日目】

3	10月10日 (木)	8:30 9:00～9:17	ホテル発 送迎車利用 来居港 9:00 (内航船) 9:17 別府港 ～ジオパーク体験自然と共に暮らす 天空の散歩～ 天空ウォーキングツアー 赤尾展望所から摩天崖を一望 摩天崖から国賀浜・通天橋までウォーキング 自分のペースでゆったりと。 国賀浜でコーヒープレイク	朝：ホテル 洋食
		9:30～12:30	別府港周辺で昼食 ※カフェ春にて和食ランチ	
		12:30～13:30	中ノ島/海士町へ移動 別府港 14:10 (内航船) 14:17 菱浦港 ～離島暮らし体験 島人交流～ フリータイム レンタサイクルにて島内散策 電動アシスト自転車を利用します。	昼：和食
		14:30～15:40	島前高校と交流 学習センター 島暮らし高校生との交流していただきます。	
		15:40～17:10	ホテル着 ～離島暮らし体験 伝統文化～ 隠岐神社での夜の祈願 竹灯籠の灯につつまれた夜の隠岐神社。神主さんの先導でお参りをします。 ご祈祷を受ける、受けないはご選択いただけます。	夕：イタリアン
		17:30	夕食 ※夕食は、Italian Café Radice 地魚と地野菜を取入れたイタリア料理	
		18:00～19:00	ホテル着	【ホテル】B&B あとど
		19:10～20:10	20:10	
4	10月11日 (金)	9:30 9:50～11:15	ホテル発 全体会議 マリンポート海士 ※ツアーに対するご意見をお聞かせください。	朝：ホテル
11:30～	菱浦港周辺で昼食 ※隠岐牛店 隠岐牛の焼肉			
		13:21～15:28	移動 米子空港へ	昼：焼肉
		16:55～18:25	菱浦港 13:21 (内航船) 13:28 別府港 14:02 (高速船) 15:02 七類港 七類港 15:02 (バス) 15:28 米子空港 米子空港 16:55 (ANA388) 18:25 羽田空港	

※この日程表は最も新しい資料により作成しておりますが、交通機関の都合により出発到着時刻の変更が生ずる事があります。

ご注意：発着時間、交通機関等は変更になる場合があります。

☆時間の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00
						04:00

1. モニターツアー【大山地区】

「大山地区」にて、下記の内容で実施した。

- ①調査対象エリア 大山地区
- ②調査時期 2019年11月12日(火)～11月15日(金)
- ③招請者 Said Karlsson 氏 (プロフィールP.8)
柴田 恵理子 氏 (プロフィールP.8)
Katherine(Kit) Pancoast 長村 (プロフィールP.9)
Isabelle MASSABO マサボ イザベル (プロフィールP.9)
中藪 大輔 (プロフィールP.9)
Lisa Wallin (プロフィールP.9)



■ 1. モニターツアー【大山地区】行程表 1～2日目

大山の森が育む自然と山岳信仰 1709→0

旅行期間：2019年11月12日（火）～11月15日（金）4日間

参加人員：専門家6名 ガイド1名 通訳1名 JTB1名 インバウンド機構1名 計10名 宿泊7名

日	月日(曜)	時刻	予 定 (宿泊地)	食 事
1	11月12日 (火)	9:25	羽田空港より米子空港へ 羽田 9:25 (ANA383) 10:50 米子空港	朝：× 昼：洋食 夕：和食
		10:50	大山ガイド：圓山 MS/通訳 JTB 高梨 剛 お出迎えいたします。緊急連絡先 080-8162-9882 高梨	
		11:10 12:30～13:30	移動 ジャンボタクシーにて日南町へ（車内にて旅程の説明をいたします） 日南町着 昼食 アメダス茶屋 アメダスランチ	
		14:15～15:30	移動 日野川源流着 ～大山 オオサンショウウオ保全体験と里山交流～ 明るいうちの下見で体験の場となる日野川源流域を散策しながら人間によって育まれてきた生息環境（川、森、里山）について理解してもらいます。	
		16:00～17:45	移動 多里振興センター着 座学 ※コーヒープレイクしながらの講義 体験ツアーの背景や目的、オオサンショウウオの現状や生態について知ってもらいます。	
		18:00～19:00	移動 民泊家庭にて 夕食 地元の方との交流 1軒の民泊家庭で全員が夕食を一緒にとります。	
		19:30～21:00	移動 日野川源流 オオサンショウウオの保全体験 夜間、川を歩きオオサンショウウオを間近に観察し、生き物そのものの魅力を体感してもらい、調査を通し保全体験の重要性をさらに理解してもらいます。 ※コーヒー、お茶をポットで持参しています 水洗式簡易トイレを設置いたします。	
		21:30	移動 各民泊家庭へ 3軒×2名 タクシーにて順番に送りいたします。 ※添乗員、通訳は「いちい荘」宿泊しています。 【民泊】民泊家庭	
2	11月13日 (水)	9:30	出発まで民泊家庭でゆっくりお過ごしください。 民泊家庭発 タクシーで各家庭を順番にお迎えに参ります。 ～里山交流 田舎料理体験～ 日本古来の作業着もんぺをお配りし、着替えて体験開始。	朝：家庭 昼： 田舎料理 夕： 精進料理 又は 豆腐料理
		10:00～13:30	田舎料理体験 古民家かつみやにて 田舎料理と一緒に作ります。 昼食後、コーヒープレイク 自家製ハチミツをお召しがりください。	
		14:30 14:30～17:00	移動 奥大山鍵掛峠着 ～奥大山ブナの森ウォーク 日本の原風景タイムスリップ～ 奥大山鍵掛峠から奥大山スキー場までウォーキングします。 健康の森から木谷沢溪流までの登山道を歩行しながらブナ林の景観に触れる。木谷沢溪流で川に触れ、ウォーキングでの疲れを川の水で沸かしたお茶と和菓子でティータイムで癒します。	
		17:30	自然歴史館で、明日の大山登山へむけ、山岳信仰と大山について事前学習をします。 宿坊着 【ホテル】とやま旅館	

■ 1. モニターツアー【大山地区】行程表 3～4日目

3	11月14日 (木)	9:00～14:45	～ 大山登山と山岳信仰 大山山頂1709mを目指して～ 大山登山 夏山登山道より修験道に思いを馳せながら山頂を目指します。山頂にて大山の地酒のお神酒で身を清めたあと、お弁当を召し上がります。お味噌汁でおもてなし。 下りは行者谷コースを目指します。 元谷で大山紅茶にてティーブレイク。 大神山神社奥宮お参りし、大山寺とおり大山寺参道へ ☆当日の天候状況により行程は変更になります。 宿坊にて荷物を受け取り、豪円湯院で休息します。 入浴などで疲れを癒してください。豆腐の軽食もご提供します。元氣になれば、元氣な地元の方のお店へご案内できます。	朝：ホテル	
		14:45～16:45	休憩	昼：お弁当	
		16:45～17:15 17:15 17:45	移動 ホテル着	タ：ホテル ハイキング	
【ホテル】皆生グランドホテル天水					
4	11月15日 (金)	8:20 9:00	ホテル発 森の国着 自転車合わせ 移動	朝：ホテル	
		9:10～12:30	大山スキー場着 ～海拔0mを目指して～ ダウンヒルを体験しながら、途中そこで暮らす人達との交流をしながら海拔0mを目指します。 0mに着いた後は、砂浜で休息し、昔の面影を残す港町を通り、御来屋港へ御来屋漁港着 昼食 海鮮料理 一階にある市場で選んだ魚を刺身にしてもらい皆さんでお召し上がりいただきます。		昼：海鮮
		12:30～13:30	移動		
		14:30～16:00	日本庭園由志園着 庭園を眺めながらコーヒブレイク 全体会議 ※ツアーに対するご意見をお聞かせください。		
17:20～18:45	移動 米子空港へ 米子空港 17:20 (ANA388) 18:45 羽田空港				

※この日程表は最も新しい資料により作成しておりますが、交通機関の都合により出発到着時刻の変更が生ずる事があります。

ご注意：発着時間、交通機関等に変更になる場合があります。

☆時間の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜	
04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00	04:00

2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

I. 体験メニュー評価

II. 体験メニュー上位3位

1位

2位

3位

	① 町ぶら散歩	② 島暮らし体験 (漁師さんとの交流)	③ 突き牛散歩体験	④ 突き牛観戦	⑤ 鷲ヶ峰トレッキング	⑥ 赤ハゲ山	⑦ 赤崖	⑧ 天空ウォーキングツアー(摩天崖)	⑨ サイクリングツアー	⑩ 隠岐神社夜参り
平均	2.6	4.6	3.4	3.6	2.2	5.0	5.0	5.0	3.8	4.4
イザベル (F)	3	5	3	3	2	5	5	5	4	5
サイド (M)	3	5	3	4	2	5	5	5	3	3
デニス (M)	3	4	4	3	3	5	5	5	4	4
柴田 (F)	3	5	4	4	2	5	5	5	5	5
Kit (F)	1	4	3	4	2	5	5	5	3	5

コメント

⑥赤ハゲ山 ★5.0

◎良かった点

- ・牛が放牧されていて楽園の様な絶景で感動。
- ・他ではなかなか見れない光景なので外国人観光客も喜ぶ。
- ・この島の眺望ポイントの全てが本当に美しく感動的。訪れる人はみんな体験すべきだと思う。
- ・今回のモニターツアーで、赤崖と並んで最も印象に残っている場所。この景色は隠岐でしか見れない絶景で、とても観光商品価値が高いと思う。
- ・動物達があのダイナミックな景色の中を自由にのんびりと歩き回っている様子が特に素晴らしい。
- ・息を呑むように美しい風景でした。必見です！

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・カルデラの話もあったので、強調した方がよい。説明が少なかった。
- ・食べられる木の実の説明などの説明もきちんとしてほしい。

★今後に向けて

- ・牛を放牧することで自然と土地の融和の説明等があるとSDGs 観光としても高く評価されてSNSでも話題のコンテンツに出来るポテンシャルがある。
- ・昔この土地は農業を営んでいた歴史的背景も説明があるとその魅力がもっとアップすると思う。
- ・今後、観光客増加を想定して、動物達にストレスを与えず、観光産業とバランスよく共存して行くための対策を考えて欲しいと思う。
- ・ドローンの撮影が自由にできた。ドローン撮影コースとして、時間を決めて自由に撮影してもらおう。あまり飛ばしすぎると牛や馬が驚くかも。

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

⑦赤崖 ★5.0

◎良かった点

- ・隠岐の島がジオパークだということを体感できた。何層にも分かれた断崖絶壁は美しかった。
- ・フェンスや人工的な柵が少ない為インスタ映えもし、自然を感じることが出来る。
- ・この島の眺望ポイントの全てが本当に美しく感動的。訪れる人はみんな体験すべきだと思う。
- ・今回のモニターツアーで、赤ハゲ山と並んで最も印象に残っている場所。
- ・この景色は隠岐でしか見れない絶景で、とても観光商品価値が高いと思う。
- ・動物達があのダイナミックな景色の中を自由にのんびりと歩き回っている様子が特に素晴らしい。
- ・こちらも格別だった。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・天気に左右され、視界が見えないと危険な場所。事前の情報と注意事項をしっかりと準備する必要があると思う。

★今後に向けて

- ・今後、観光客増加を想定して、動物達にストレスを与えず、観光産業とバランスよく共存して行くための対策を考えて欲しいと思う。
- ・この場所でドローンによる写真撮影をしてみてもいい。

⑧天空ウォーキングツアー（摩天崖） ★5.0

◎良かった点

- ・赤崖の牛の楽園に馬の楽園も追加されたような世界で感動した。
- ・隠岐の島々のハイライトの一つ。景観、自然、動物たちとの自由な散策が素晴らしいコンディションを生み出している。
- ・赤ハゲ山、赤崖と甲乙つけがたい、こちらも同様にとっても印象的なツアーだった。360度絶景が広がる草原を、牛や馬の間を通りながらのんびりと歩く体験は、他ではできない貴重なものだと思う。
- ・このメニューはとても気に入った。自由に歩き回る馬とあの風景を共にする格別の感覚、肌を感じた潮風が忘れられません！
- ・素晴らしい景色。馬の色とか、感動した。
- ・動物との距離感よい。あまり他ではない。サファリパークに行ってもあれだけ近い距離感がない。
- ・海と山があるのが良い。
- ・非日常的な場所で、動物と共存しないとならないことを感じさせてくれる。幸せな時間、アドベンチャーなテーマにはあっている。
- ・人間がすぐにトップだと考えるが、動物を自然にすることで関係が変わる。ファンタスティックな良い経験。
- ・3回目だが、いつも写真をインスタにアップしたら、いいねがすごく多い。すごく魅力的な場所。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・赤崖より散歩道が急な下り坂なので悪天候の日は危険な感じがした。事前に外国人観光客の皆さんには滑らない靴や下り坂に適した靴の用意を案内したほうがいい。（長時間の下り坂のウォーキングはつま先が痛くなり、不快になる方もいるため）。
- ・色々制約はあるかもしれないが、可能であれば自由時間を少し挟んでももう少し長く滞在していたかった。
- ・環境ツアーとか、環境への意識が高まっているので。高校生と活動してみてもどうか。

★今後に向けて

- ・写真撮影やドローンの空中撮影がしたくなる場所なので、ドローン撮影許可MAP等があると写真を趣味にしている観光客は喜び、個々のSNSでPRに繋がると思う。
- ・ゴール地点にカフェ等があると理想的。
- ・ウォーキングコースの終点の海岸に散乱している漂流物（ゴミ）がマイナス。逆に観光客向けにゴミ拾いをアクティビティーとして提案してもいいか。他国からこの美しい島に流れ着いたゴミのストーリーからSDGs（エコ）のメッセージを発信できる内容を仕掛けても面白いと思う。
- ・ゴミはどこから来ているか、ゴミを拾うのがどれほど大変か、ゴミを出さない環境を作ることを、この島から考えるのも一つの方法。

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

②島暮らし体験（漁師さんとの交流） ★4.6

◎良かった点

- ・ローカルの人と触れ合うことが出来、散歩コースも良かった。
- ・この旅行のハイライトの一つ。誰もがリラックスできる空間だった。
- ・漁師のホスピタリティや素晴らしい雰囲気のおかげで、本当に忘れられない体験となった。
- ・大変温かいもてなしを受け、島の漁師の方達の暮らしぶりを垣間見ることができた。幸いにも天気も良く、素晴らしい日没を見ながら美味しい海の幸や手料理をたくさんいただき、身も心もいっぱいになる体験だった。海外から来たゲストには、大いに楽しんでもらえると思う。
- ・とても親しみの持てる方々との楽しい体験。彼らのおもてなしと素晴らしいユーモアセンスを私は決して忘れません。
- ・言葉の壁が無ければ楽しく体験できる。言葉がわからない外国人観光客の場合、おそらくその時間退屈している。通訳することも大変。
- ・実際の人の家は、大きさもインパクトあった、実際の生活を説明してもらったのは楽しかった。
- ・美味しいお刺身なども出してもらい、素晴らしい夕日の前で飲めたのは、最高の体験。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・どのような漁が行われているのかをより深く知って、実際に体験までできるのであれば、もっと良い企画になるかも。

★今後に向けて

- ・他に受入れ可能な漁師さんはいない。かなり申し込みのある商品だが、受け入れは漁師さんの都合になるので、2回に1回くらい受け付ける。予約のとれる確率の低い商品。

⑩隠岐神社夜参り ★4.4

◎良かった点

- ・隠岐神社の宮司さんのご説明は外国人に今までで一番わかりやすい内容だった。又、夜のお参りも初体験でしたので感動した。参拝を夜行うことで普段聞こえなかった神社内の静寂な空間で、虫や風の音など「自然の神様の音」を聞くことが出来た。
- ・祈祷を受ける前に受けた、神道についての説明がとてもわかりやすかった。宗教ではないというところを優しく丁寧に伝えていて、欧米からのゲストにも好意的に受け入れられ、理解してもらえると思う。祈祷場所への道に用意された、竹（に入った）のキャンドルがとても上品だった。夜のイベントは、電飾などが派手になりすぎる傾向がある中、この隠岐神社夜参りは良い意味で控えめで、本物らしく感じられた。薄明かりの中、虫の声を聞きながらの祈祷体験は、神秘的で非常に素晴らしかった。
- ・実に壮麗でした。夜にお参りするのは非常に良い考えで、神主さんの神道に関する解説が素晴らしかった。
- ・島のお米（お供物）が綺麗だった。俳句が好きだったから、和歌の話も良かった。
- ・夜できたことが、特別だった。暗闇の中で虫の声を聴きながら、神様と向き合う時間。この体験が貴重だった。
- ・隠岐にくるのは、日本に何度も来てる人。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・面白い体験だったがけれど、外国人観光客が面白いと感じるには、英語の説明が必要。
- ・綺麗な神社、神道の説明は良かった。でももう少し詳しくてもよかった。

★今後に向けて

- ・イヤフォンガイドはどうか？ものすごくゆっくり静かで、耳に心地よいガイド。歌舞伎座の能でやっています
- ・人のトーンが大事。

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

⑨サイクリングツアー ★3.8

◎良かった点

- ・電動自転車でのサイクリングツアーは最高。車で見る世界とは又違った目線でローカルの暮らしが体感できた。
- ・家のデザインが特徴的な印象。島には沢山の農家があり、とてもエコで地球にやさしい島のイメージを得ることが出来た。自転車で移動することで島の魅力を五感で楽しむことも出来た。
- ・歩いて回るツアー・体験が多かったため、電気自転車に乗って島のローカルな場所を見て回るツアーは新鮮でとても気持ち良かった。時間もちょうど午後の日が傾いた頃に夕日に照らされた畑や山々、海岸などがとても美しかった。
- ・ツアーの終盤に旅を振り返りながらリラックスできる時間となったと思う。
- ・農家が多くて美しかった。東京、大阪、京都では感じられない、農耕民族を感じる事ができた。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・道が少しわかりにくい感じがした。サイクリングコースとして写真スポットMAP等わかりやすく路上にも表示して頂けたら外国人観光客も道に迷うことなく島を散策できると思う。
- ・良かったけれど、コースのプランには改良の余地があり、もっと面白くできると思う。道中で何回か休憩を入れても良いかもしれない。
- ・他の名所を訪れた後では景色が物足りなかった。

★今後に向けて

- ・地元の方と触れ合ったりお店に寄ったり、現地を散策したり、地元の建築物や赤瓦屋根についてより深く学べるように、立ち寄り場所も増やすべきだと思う。
- ・火山の島だから稲作ができない場所のことや、ここはなぜフラットになっているかなど、ストーリーを説明してほしい。

④突き牛観戦 ★3.6

◎良かった点

- ・「牛の武道」に見えました。日本にしかない「牛道」みたいな感じで海外の人に見て頂くのは面白いかもしれない。
- ・面白かった。隠岐独自の文化。何が起きているかをもう少し説明してもらえるとありがたい。
- ・「日本版闘牛」を見るのは面白い体験だと思う。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・闘牛とは違うルールや文化なのでなぜ突き牛は島にとって大事なのか？その立ち位置をもう少し説明する必要あり。この島にこの文化が根付いた意味が良くわからなかった。
- ・闘牛とは違うルールや文化なのでなぜ突き牛は島にとって大事なのか？その立ち位置をもう少し説明する必要があります。この島にこの文化が根付いた意味が良くわからなかったです。
- ・突き牛文化についてもう少し説明などがあるとより良いと思う。

★今後に向けて

- ・牛突きという危険なスポーツでこのレベルに達するために、牛飼の方が重ねられている訓練を拝見したかったなと思います。

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

③ 突き牛散歩体験 ★3.4

◎ 良かった点

・朝日が照らす里山の風景が美しかった。都会から来るゲストには新鮮な体験だと思う。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

・「なんの為」に行ったのか今一つ理解できなかったです。島の人たちが沢山牛のお散歩をしているわけでもなかったし、他にお散歩している方の姿もなかったので、本当に島の文化なのかいまいち伝わらなかった。

★ 今後に向けて

- ・どちらかと言えばその時間で牛突きの訓練を見物したいと思いました。
- ・面白いコンテンツだと思う。上手に説明ができることが条件となる。
- ・トレーニングをどうやってするのか、安全にファイトをするのか事前に説明があった後にブラッシングなどすればとても意味があるものになる。散歩だけが結構時間がかかる。時間は非常に大事な点。ここまで来るなら1時間は3万円くらいで考えた方がよい。それが3万円の価値があるのですか？ ていうことを自分自身に聞いた方がよい。そこまで考えると少しずつ変わる。突き牛の時の練習、動きか方とか見られれば良いと思う。牛側の動きよりトレーナーの動きが気になる。

① 町ぶら散歩 ★2.6

◎ 良かった点

- ・夜の散歩コースにしたほうが良いと思った。
- ・カフェやランチは素晴らしかった！
- ・昼食をいただいたお店では、ホスピタリティが感じられ、偶然にも三味線や唄を披露していただけたり、踊りを体験することができたことは非常に良かったと思う。実際にツアーを実施する際には、お願いして同様の演出ができれば満足感が高いと思う。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・散策したエリアは少々静かすぎて面白みに欠けていたように思う。
- ・最終日のフィードバックにもあったが、シャッターが閉まっているお店が多く「町」をあまり感じられなかったのが残念。

★ 今後に向けて

- ・できればお店が開いている日を選ぶか、地元の方が通う「スナック」に行く夜のツアーを手配した方が良いと思う。

⑤ 鷲ヶ峰トレッキング ★2.2

◎ 良かった点

- ・後半は森の中の散歩で歴史のある大きな杉の木や、この島ならではのワイルドな自然を発見出来たので、このコースはおすすめできると思う。
- ・終盤にかけての舗装されたルートでは、楽に歩いてハイキングを楽しめた。
- ・コーヒープレイクから道も整備されてトレッキングになった。景色は見られなかったが、森の中はよかった。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・コースがあまり初心者向けではなく、また細く急な傾斜道が多かったので難しい箇所が多々あった。全体を通じて景色が見える場所がほとんどなく、また休憩場所も「なぜここで？」というポイントだった。コース選定・構成に改善の余地があると思う。
- ・これはトレッキングではなく山登り。

★ 今後に向けて

- ・麓寄りの道は良いですし、様々な杉の木を見に行く散策のメニューがあれば素晴らしいと思います！もしくは目が覚めるように美しい海辺沿いのコースで、本当のトレッキングをするのはいかがでしょうか？

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

II. 隠岐の島に来てみて、隠岐の島の一番の売りだと感じたものをご記入ください。

- ・ダイナミックな自然と食事です。食事も外国人観光客向けに意識して地元の素材を生かしたイタリア料理やバーベキュー、朝ビュッフェ等工夫して頂いていたので飽きないで、とても美味しかったです。
- ・美しい自然を自由に楽しめる体験は、強力なセール・スポイントになる。美しい景観も同様。
- ・隠岐の島は人間が手入れしていない豊かな大自然が一番の売りだと感じました。初日の島暮らし体験も、用意されたものではなく、いい意味でとても生々しく、島の生活そのものを体験させていただくことができました。その後の鷲ヶ峰周辺、赤ハゲ山、摩天崖などの景色は今まで人生で見た景色の中で3本の指に入るくらい圧巻でした。自然を売りにするのは当然ですが、課題はいかに「自然をそのままに、暮らしをそのままに」体験してもらえるかに尽きます。大自然に大人数を連れ込むと、雰囲気も変わるし、環境や生態系も崩れていくのは言うまでもないです。少し矛盾する話に聞こえるかもしれませんが、こういった観光商品を少人数に限定し、高価格で提供することをお勧めします。まるで、島を独り占めできるようなイメージで、かつ島の人々と一緒に暮らしているような体験ができるといいかなと思います。但し、自然を売りにすると、どうしても天候に左右されることが多いので、自然を全面的に出すというよりも、島の暮らし体験をメインのテーマにし、自然はつきものという売り方がいいかもしれません。（ここでいう「島暮らし」というのは、島の人と暮らしながら、交流しながら、地域文化や地産地消で食文化を楽しみ、自然を堪能するということです。）
- ・隠岐でしか見ることができない景色。赤ハゲ山、赤崖、摩天崖が特にそれを象徴する場所だった。観光産業が成長した際に、のびのびと過ごしている動物達にストレスを与えないよう、持続可能なマーケティングや対策をぜひ考えて欲しいと思う。
- ・自然のままの海岸線、歴史、優しい人々がこの地域本来の魅力だと思います。私が投稿したどの写真も、友人や仕事仲間が息をのむほど感動していました。

III. 隠岐の島の4日間で、どんなストーリーが考えられますか？

- ・自然を満喫できるアドベンチャーアイランドでした。海・山・風・太陽・動物・海の幸・人と触れ合いゆったりとした癒しの空間でした。
- ・自由やホスピタリティを体験できる島。
- ・「4つの島を巡りながら、島の暮らしを体験する」
4つの島の中で自由に行き来できるようにフェリーパスを与え、それぞれの島にはどういふものがあるのかを一目瞭然とわかるような「パスポート」（資料）を用意します。それぞれの島の歴史・文化（簡単に）、食文化（大事！）、見所（景色）などを羅列します。ストーリーを作るのであれば、唯一無二のものを作る必要があります。インターネット上には膨大な情報に溢れているので、少し突拍子もない話でも、日本の他のところには絶対ないものでないと、印象が薄れてしまいます。私が提案するストーリーは「古事記の国生み伝説に登場する隠岐」というものです。かつては古代日本の中心だった隠岐だからこそ、神聖な場所で、大人数でワイワイするような場所ではなく、少人数でじっくり楽しむような体験だと売り出します。島のあちらこちらには神様が祀られているというも響きがいいかもしれないです。ブランドイメージを上記のものにし、宣伝用のポスター、または観光客に配るちょっとしたものは全てそのブランドアイデンティティで統一します。但し、歴史の話や宗教の話は長々とせず、興味のある人だけにそういう情報を提供します。外国人観光客はみんながみんな歴史の話が好きというわけではありませんので、とりあえずイメージを強く打ち出し、中身は親しみやすいものにした方がいいと思います。
- ・今回のツアーに組み込まれたアクティビティは、海、草原、山が満遍なく含まれていて隠岐の豊かな自然を満喫できるよう考えられたのだと思う。残念だったのは、それぞれのポイントで説明がほとんどなく（また、あったとしても日本語のみ）ツアー全体が一つのストーリーで繋がっているという印象は感じられなかった。ジオパーク・離島暮らし・島民交流というテーマがあったので、そこを軸に各スポットを巡っても良かったのではないだろうか。例えば赤ハゲ山や赤崖を訪問する際に、あの辺りに牛を放牧している島民の方に会いに行ったり、話を聞いても面白いと思う。実際に、タクシー運転手の方にいくつか質問をしたら「なぜここにこのように牛が放牧されているか」など歴史的背景について話をしていただいた。そういった「地元の人には当たり前でも観光客にはユニークな話」を聞き出すには島民の方のお力をお借りするのが一番だと思う。
- ・今回の隠岐の島でのストーリーは地層と透き通った海の水が主体となっています。厳密には今回のツアーで漁業の世界や地元の方の生活に触れる機会はそんなにありませんでしたが、そういった要素がむしろストーリーの中心となるべきだと思いますし、その中に地元の方が参加される体験メニューがあると良いと思います。したがって神社参りは素晴らしかったです。漁師さん訪問も同様に良かったのですが、少し内容が浅かったと思います。今のところ、このツアーの進行方針であれば、ジオパークのハイライトとなる名所に関するストーリーでしょう。

■ 2. モニターツアーアンケート【隠岐諸島】

IV. 今回のテーマは、ジオパーク（自然）と離島暮らし・島人交流でしたが、テーマを変えたら？

- ・化石など歴史を感じられる文化が大自然とともに感じることができるのでジュラシックパークのようなタイムスリップできるアドベンチャーアイランドがいいと思います。テーマの中には自然を守る意味とSDGsを意識した内容を込めると世界から注目を集めることにも繋がると思います。
- ・多くの若者が自らの意思で実際そこに移り住んでいるということもまた、非常に興味深い。このこともハイライトをあてる価値があるように思う。ただし、高校生と話した時を除くと、そうした状況を目にするチャンスは今回はあまりなかった。
- ・「ジオパーク」は少しかしこまった感じがします。「自然と離島暮らし・島人交流」でいいのではないのでしょうか？人数制限をするのであれば、「人数限定」と書いて「プレミアム感」出すのもいいかもしれません。
- ・隠岐のように、他に類を見ない地形や生態系を持つ場所には「ジオパーク（自然）と離島暮らし・島人交流」のテーマがふさわしいと思う。そのテーマがツアー全体に浸透していなかったため、より島の暮らしが見えてくるツアー作りができると良いと思う。
- ・自然に触れ、自然がどれほど地元の人々の生活を形作っているかを知ろう。牛突きの訓練を見物しよう。ボートで魚釣りに出かけよう。島の若者と交流しよう（現地の学生たちは準備万端です）。また、星空の下で実際にキャンプをするのはいかがでしょう（本当に暗い場所で…ホテルでは無い方がいいかもしれません）。貴社の設定されたテーマが隠岐の島に最も合っていると思います…。

V. 今回のモニターにツアータイトルをつけるとしたら

- ・The Adventure Islands Tour in Japan.
- ・手つかずの島々で自由と地元の伝統を味わう
- ・Tracing Japan's Origins（日本の原点を辿る）
- ・隠岐のジオパーク認定の経緯や島の成り立ちなどを知ると、隠岐がいかに神秘的な場所であるか理解できた。既存のツアーで「奇跡の島」や「神秘的な」という単語が使われているものがあるが、ジオパーク（自然）をそういう表現でタイトルに付けても良いのではないかなと思う。
- ・目が覚めるように美しいジオパークで憩いのひとときを
- ・隠岐の島ジオパーク、驚嘆の景観
- ・隠岐の島の秘境、壮観の断崖絶壁

VI. その他ご意見

- ・短期間で沢山の島を見ることが出来るし、東京からも飛行機ですぐなので自然を満喫できるパワースポットとして素晴らしいデスティネーションだと思いました。今回は幸いお天気に恵まれたので悪天候の日のアトラクションを考える必要があるとも思いました。雨なら雨なりのパワースポット選びやストーリーが必須だと思います。ジオパーク&アドベンチャーツアーとして展開する場合、外国人観光客向けのガイドは高いレベルのスキルを持った方が必須となりますのでその人材育成が大変だと思いますが、環境を勉強している学生（国内外から）もターゲットに出来ると思います。メインターゲットとしては訪日外国人観光客はもとより在住外国人観光客向けにも展開しても面白いと思います。自然の中のアドベンチャーの他にも離島暮らし（牛との暮らし）、教育、エコ、神社文化など欧米豪向けに展開も可能だと思いました。しかしホテルや宿泊施設が少ない気がしました。学生や中間層であれば今回宿泊させて頂いたお宿はいいと思いますが、富裕層をターゲットにする場合は宿泊できるホテルが少ない印象でした。宿泊施設のサービスと空間作りがもっと必要かなと思いました。
- ・もし、以上のようなストーリーを作るのであれば、ぜひ隠岐島前高校のみなさんに主体になってもらいたいと思います。地域に根差したもののほど、そして若者を主体にすることほど、大事なことはないです。
- ・アクティビティ個別の感想欄にも書いたが、全体を通して訪問場所の説明がほとんどなかった。タイトなスケジュールなので、移動中は休みたい人もいると思うので移動中のバスでのガイドのアナウンスを控えめにしたのは良かったと思う。しかし、だからと言って一切の説明がないと、その後印象に残る・残らないを大きく分けることになる。今回は全体を通して「バスに乗ってどこかへ到着→なんとなく自由・またはなんとなく皆で動き始める」という動きだった。それぞれの場所で、島民の方が説明してくれる場面もあったが、それに対してのガイドからの補足や英訳はなかったのが気になった。ガイドは英語で、毎回各スポットに到着した際に、簡潔で分かりやすい補足説明を実施するべきだと思う。
- ・デスティネーションホテル（そこに宿泊・滞在すること自体が目的になるホテル）やリフォームされた昔ながらの家屋等、隠岐の島独自の滞在先があれば素晴らしいと思います。ホテル環境がどちらかといえば問題だと思います。

2. モニターツアーアンケート【大山地区】

I. 体験メニュー評価

II. 売れると思う体験メニュー

	① オオサンショウウオ	② 民泊 (地元の方との交流)	③ 田舎料理体験 (かつみや)	④ ブナの森ウォーク	⑤ 大山登山 (途中まで)	⑥ ダウンヒルサイクリング	⑦ ガイド
平均	4.3	3.3	4.1	3.6	3.5	3.6	4.6
柴田 (F)	4	2	4	2	4	5	5
イザベル (F)	3	3	3	4	4	3	4
Lisa (F)	4	3	5	4	4	5	5
サイド (M)	5	3	4	4	5	5	5
Kit (F)	5	5	5	4	-	-	4
中数 (M)	5	4	4	4	4	4	5

コメント

⑦ガイド ★4.6

◎ 良かった点

- ・全行程で同じガイドが同行したことが非常に良かった。丸山さんは、前回同様（それ以上かも？）にエネルギーで、フレンドリーで常に優しく対応していただいた。大山を愛しているという姿勢が伝わってくるので、こちらも色々とお話を聞きたいという気持ちになり、日を追うごとに参加者との距離が近くなっていったと思う。
- ・説明が丁寧で大変わかりやすかったです。
- ・ガイドさんが素晴らしかった。色々詳しくてすごく勉強になった。歌ったりと昔話までしていただき、おもてなし感はずごかった。
- ・ホスピタリティ溢れるガイディングで素晴らしい。話題の引き出しも多くお持ちで、地元にも精通されており、お客様から頼りにされる筈。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・参加客の要望よりもご自分に少し気を取られがちだった。プロのガイドなら手助けしてくれるはずの場面でも、自分の用事をすませたり商品を売るのに手一杯だったことが幾度かあった。そこは気をつけた方が良いと思う。この点についてコメントされている方が何人もいらっしゃいました…。

★ 今後に向けて

- ・情報量が多いので通訳が大変なため、観光客も覚えきれません。少々改定する必要があります。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

① オオサンショウウオ ★4.3

◎ 良かった点

- ・岡田先生とオオサンショウウオを探索できたのは、非常に良い体験だった。不思議な生き物なので、自然が好きな観光者にとっては、良い企画だと感じた。
- ・体験メニューとしては大変素晴らしいと思います。
- ・非常に素敵な体験でした！ユニークで有意義、思い出深く、忘れられない。強い絆を感じられて個人的な愛着が増すと思うので、「オオサンショウウオ」を正式にツアータイトルに取り入れるようにすることを強くお勧めする。
- ・地元ならではのコンテンツ。希少性の高さが大きな魅力。街灯もない暗闇の中での探索だが水流も穏やかで危険はない。ライトを照らして貴重な生物を探していく純粋な楽しさがある。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・オオサンショウウオの住む環境を取り巻く厳しい状況についてのプレゼンテーションを聞いて、やりきれない気持ちになった。
- ・オオサンショウウオを山奥に入って見つける意図が途中からわからなくなり、本来の目的である観光ツアーではなく、オオサンショウウオをどう守るかというテーマが強調されすぎた為、疑問を感じました。また地元の政治的なお話や、地域の問題点等がリアルに見えてしまい、観光地としての魅力が半減したように思えた。
- ・オオサンショウウオとどう共存していくか地域でもっと考えるべきで、観光商品にする以前の問題。

★ 今後に向けて

- ・地域の人たちが「外国人観光客の受け入れ」や「観光による経済効果やその他の課題」をしっかり分析し、理解してからでないとオオサンショウウオを観光のコンテンツにするのは難しいと感じた。視点を変えて、環境学部の留学生や海外からの学生、学者、エコツーリズム関係者等、ターゲットの違う「オオサンショウウオから環境と地域温暖化を感じ、考える会」などを話し合う環境&観光をテーマにコンベンションと国際交流を目的としたツアーであれば面白いと思う。
- ・現在の企画のままではなく、さらに改善した方が良いと思った。地元の人のサポートがないとオオサンショウウオの居場所がなくなってしまう。2年前に同じ体験をしたと比べて、現在はオオサンショウウオの環境がさらに悪くなっていてショックを感じた。観光名物として必要なので、観光をずる流れを変更し、大山の水の大切さを知ってから、オオサンショウウオにするのが良いと感じる。オオサンショウウオにとって水が大切だから。
- ・「お子さんショウウオ」「奥さんショウウオ」など、キャラクター展開でプロモーションを考えてみてはどうか。
- ・モノストーリーだけでなく、パーソナルストーリーのPRも効果的。誰に何を伝えるのか明確にした情報発信が必要。
- ・オオサンショウウオが存在している意味が伝わる必要がある。オオサンショウウオが居なくなると困る存在だということ。
- ・オオサンショウウオが、中国・アメリカ・日本にしかない。そのため、文化的な研究をテーマにして交流人口を増やして認知度をあげていく施策も必要。
- ・光る素材（オオサンショウウオ）を観光ベースに引き上げる努力が今後必要。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

③ 田舎料理体験（かつみや）★4.1

◎ 良かった点

- ・とてもリラックスできる時間を過ごせた。
- ・大山は自然や水が綺麗な為、お米が美味しいことがよくわかった。かつみやさんは古い歴史のある大きな古民家なので探検出来て楽しかった。お料理は野菜をベースにしている昔から続く山の暮らしの食生活を知ることが出来た。
- ・良い企画だと思いました。理由は、地元の人と交流ができたこと、ご飯を作る釜、他では見ることができない民家がある理由。加えてブナの森の後のほうが、順番として良いと感じた。理由はゆっくりできる場所だから。
- ・全般的にとっても有意義で楽しい体験だと思う。
- ・素晴らしいご主人達に素敵な場所でした。一緒に料理を作るのは良い考えだと思いますし、100年前はどのような生活が送られていたのかを感じられるのは、良い感覚でした。このご夫婦にとっても好感を抱きました。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・機会があればお米を研いで、竈に火を起こして、ご飯をゼロ口か炊くことを体験したい。そうすることで「水」の大切さとその水で作ったお米と炊き立てのご飯の美味しさがより伝わると思う。
- ・料理の量が多すぎたと感じた。

★ 今後に向けて

- ・スケジュール上では、この後に他のアクティビティがないよう、最後に組み込むのが良いのではないかと感じた。
- ・外国人旅行者の多くが好意的に評価してくれる。言葉の壁を埋めてくれる通訳かガイドがいれば、この体験はうまくいくと思います！

⑥ ダウンヒルサイクリング ★3.6

◎ 良かった点

- ・途中で立ち寄った場所でお茶をいただいたり、のんびりとお話を伺うことができたのも楽しいひと時となった。
- ・楽しくて、体に応えるほどでもなく、また地理的環境など地域の様子をより深く知るうえで良い方法だと思う。今回新たに、馬牧場に立ち寄る機会が追加されたことは素晴らしく、これまで以上に楽しめた。
- ・いつもながら大変素晴らしい体験。

▲ 良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・正直に言うと前半は坂道が急だったので怖かったです。下り坂でブレーキもあまり効かず、怖いので身体が固まったままブレーキを握りっぱなしで腕の筋肉も限界に。途中から多少緩やかな下り坂になったが、スピードは落ちず、車道を走っているので不安だった。途中の馬小屋での休憩に救われた。
- ・最初は正直に怖かった。一番最初の方は、曲がりくねった道と坂が急でしたが、落ちた葉っぱがたくさんあった。
- ・一方で、怪我のリスクは幾分大きいことから、転倒してサイクリングが続行できなくなった場合（更に深刻な状況で、病院に搬送する必要がある場合など）の対処案が心配。
- ・森の国で自転車/ヘルメット/グローブを借り、車でサイクリングのスタート地点(大山スキー場)まで移動するオペレーションがスムーズで良い。自転車はそれほど古いモデルではなく、整備も行き届いている。インストラクターの安全走行の為にレクチャーも分かりやすい。信号は無く快適だが、自動車には注意が必要。長時間のブレーキングで女性参加者から腕の疲れの声も。

★ 今後に向けて

- ・バーベキューが楽しかった。メニューが焼き芋、キャンディーチーズ、マシュマロ以外にも食材があると喜ばれると思う。
- ・休憩のところがよかった。やっぱり途中にお茶とオヤツがあると嬉しい。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

④ブナの森ウォーク ★3.6

◎良かった点

- ・大変面白かった。ガイドさんがとても自然に詳しい方で実際森の中で歩きながら色々教えて頂きわかりやすく、大山の自然の魅力や「水」からオオサンショウウオにつなげるストーリーが興味深かった。
- ・行って良かった。ガイドさんの説明が良くて面白かった。スキー場の隣の森（抹茶体験できたところ）もよかったです。
- ・この体験もまた大変素晴らしいもので、この地域の動植物の生態について理解を深めることができた。
- ・ザトウムシ探しは素晴らしかった。
- ・自然を守るブナ林の効用等を上手にガイドされ、豊かな水源である理由を興味をもって知ることができる。
- ・大山の水の大切さ良くわかった。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・車道を大勢で歩くことは（わりと車が多いので）ストレスを感じる人はいると思う。
- ・帰り道は道路を歩いたため少し危険だと感じた。最後にお抹茶とお菓子のサービスがありましたが、使用している道具が紙コップだったりビニールのゴミが出るお菓子が多かったので、エコなイメージが弱く残念。ここでもエコをイメージしたおもてなしの演出を考える必要があると思う。
- ・堅苦しくないお茶休憩は良い考えだと思う。

★今後に向けて

- ・午前中～日中明るい時間に組み込んで欲しいアクティビティだと思う。
- ・もう少し準備をすることで、このメニューに注目を集められるのではないかなと思う。

⑤大山登山（途中まで） ★3.5

◎良かった点

- ・悪天候だったが登山のプロフェッショナルと一緒にだったので不安もなく楽しくハイキングできた。大山が他の日本の山と違う、お坊さんの修行の山であったり、日本らしい文化を感じることが出来た。
- ・当日はとても寒く、下山する前に用意していただいた御神酒や菓子を振る舞っていただいたことで、身体が温まり疲れが取れた。
- ・使った道はすごく良かった。前に大山を登山した時はメインの入口だったが、そちらよりこちらが良かったと思う。
- ・大山の登山は旅程に必ず入れるべき。
- ・途中の寺社は見ごたえがあり、参加者も興味深く見学。今回視察した夏山登山コースは歩きやすく初心者向け。登山に慣れた参加者には物足りない筈。尚、山岳信仰の側面をもっとアピールした方が、訪日外客には刺さるのでは。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・お弁当の内容に驚いた。海苔巻きのような大きなおにぎりが2つと、ウィンナーが1本に、梨が一切れ。寒い中を長時間歩いてきたので悲しい気持ちになった。
- ・ずっと階段ばかりで大変だったが、何よりもメンタル的にも辛いのでちょっとだけでも自然な道（森の中みたい）があると嬉しい。
- ・食事に関わることについては改善の余地があると思う。使い捨ての弁当箱を持って行く以外に方法はないか。

★今後に向けて

- ・例えばここで、バーベキューや暖かいココアやコーヒーなど心も体も温まるおもてなしメニューがあれば、道中のことを思い出して食事しながら会話にも花が咲くと思う。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

②民泊（地元の方との交流） ★3.3

◎良かった点

- ・寝具や朝食などとても丁寧に準備していただき、もっとゆっくり滞在していろいろなお話を伺ったり感謝の気持ちを伝えられたかった。
- ・コンセプト的にはすごくいいと思う。地元の方と交流ができない旅は少し寂しいから。
- ・一般的に民泊は素晴らしいアイデアだと思う。そこでの宿泊体験は極めて特別なものであるだけでなく、地域の住民と直に交流することもできる。
- ・宿泊先や迎えて頂いたご家族の方は親切で最高だった。

▲良くなかった点・こうすればいいと思う点

- ・到着時刻が遅く、また翌朝も早い時間の出発であったため交流する時間がほとんど取れなかったことが残念。
- ・シャワーの水圧が弱く、湯船に貯めていただいた熱湯に水を加えながら使用したので、欧米の方にはかなりカルチャーショックがあるのでは無いかと思った。
- ・家が民泊対応になっていなくて、私生活の中にむりやり泊めて頂いた感じで気まずかった。ヨーロッパの民泊は宿泊先に専用のシャワールームやトイレ等、私生活エリアとは別に宿泊者のプライベートな空間が用意されている。また、外国人を受け入れるには英語での会話が不可欠。
- ・私が泊まったところは、たくさん人が泊まれるが、お風呂とお手洗いは一つしかなくて多分普通の観光者には辛い。知らない人とお風呂の順番やタイミングを決めることは、人によって疲れる。
- ・ゲストハウスやドミトリー系の宿泊に慣れている若者にとっては大丈夫かもしれないが、その場合でもお風呂を鍵をかけることができるようにしたほうがいいかもしれない。

★今後に向けて

- ・外国人観光客を迎え入れ、有意義な体験を生み出すために、受入側には意思の疎通が図れるだけの語学力が必要。また、ツアー運営会社の側でもそのお宅を事前に訪れ承認し、確実に最低限一定レベルの質（機能的な浴室・トイレ、清潔さなど）を満たせているようにすることも必要と考える。さらに、布団を床に敷いて寝ることになるのであれば、ゲスト側にも事前に快適さの面で問題ないか確認しておくべきだと思う。

II. 体験メニューについて、売れると思う体験メニューと理由

- ・①オオサンショウウオ、③田舎料理体験（かつみや）、④ブナの森ウォーク、⑤大山登山、⑥ダウンヒルサイクリング

理由は、それぞれのアクティビティについてのコメントの通りです。

- ・④ブナの森ウォーク

大山の特徴と売りである「水」をテーマにした演出とストーリーをもう少し明確に描けたら面白いと思います。

- ・①、③、④、⑤、⑥

自然を深く体験でき、かつユニークな体験だから。

- ・体験全てが、ツアーに採用できると思います。

大山は、自然や動植物の生態に関心がある人たちの旅の目的地として、豊かな可能性を秘めています。ただ、こうした旅行者にとって、環境保護や持続可能性の問題が非常に重要であることは、どんなに強調しても足りないほど大事な点です。入念に検討すべき問題にはたとえば以下があります。現地に向かうのに、飛行機を利用しなくてすむような他の選択肢はないか（電車など）；どうすれば使い捨て製品を回避できるか；オオサンショウウオが暮らす環境の保全に旅行者はどのように貢献できるか；このような旅行者の共感を得るには、ツアーをどう進めていくのがよいか、など。ツアーの対象となる旅行者について慎重に分析されることを強くお勧めします。

- ・私ならこのツアーで紹介されたほぼ全ての体験メニューを取り入れて、「自然資源保護ツアー」として売り出します。私はこのツアーの前半しか体験していないので、完璧にはコメントできないと思いますが、オオサンショウウオの観察と農家で料理体験が特に心に残っています。

- ・オオサンショウウオ保全体験

地元ならではのコンテンツである為。また、ライトを照らして貴重な生物を探していく純粋な楽しさがある。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

Ⅲ.大山の4日間で、どんなストーリーが考えられますか？

- ・次の質問の「テーマを変えたら・・・」のところで書いている、自分なりに想像したツアー（ストーリー）を書きます。前回の大山訪問時にもお話ししましたが、大山寺訪問・大山登山をして、ブナの森を歩いて木々を学び、サンショウウオを観察した後に、ダウンヒルで山を駆け下りる。それぞれのアクティビティの合間に、地元の方との触れ合いがあってもなお良いと思います。そして最終的に山の水が海へと辿り着き、日本国内でも珍しい海にある温泉・皆生温泉で疲れを癒しながら旅を振り返る。皆生の温泉街も歩く時間があつたらさらに良かったなあと思いました。
- ・大山の自然と水の関係性⇒その水で生まれる豊かな森と生物⇒学術的に重要なオオサンショウウオの存在⇒環境の守り方⇒自然と人間の共存、共生方法を学び感じる 等
- ・2つのストーリーが考えられます。1つ目は、自然と人間です。共存しているためです。自然は残っているのは、人間のおかげです。同様に自然が大きく変わったのは、人間のせいです。千年以上、その両方に関わっている歴史がある。2つ目は、水の大山です。大山の水は、今回の体験の内容に全てに関係しているためです。
- ・最も強く印象に残ったのは、オオサンショウウオが暮らせる環境の保全を望む声がある一方、自治体ではそうした手つかずの自然環境の中にインフラを整備する新たな計画が承認され、その両者の間に対立が続いていることです。ですが、大山をめぐる生態系が清らかな水をもたらす仕組みについて学びを深めることができたのもまた楽しかったです。
- ・上記をご参照ください。ストーリーはまさに思いやりと共生というテーマを中心に展開しています。オオサンショウウオの寿命は健康なヒトと同程度の長さですが、とてもおとなしくもの静か、穏やかで控えめな生き物です（もちろん、間違った場所に指を出さなければの話ですが）。その存在は脅かされており、どうやって農家や地元の人々の要望を満たしつつ自然のサイクルを保護するか議論することが重要です。絶滅の危機に瀕している生き物を目にする機会はなかなかありませんし、意義深い貢献をする良い機会だと思います。
- ・Day1_オオサンショウウオ保全体験、Day2_ブナの森ウォーク、Day3_大山登山、Day4_大山ダウンヒルサイクリング。やはり手配頂いた旅程の流れがベスト。里山の自然、豊かな水を感じて頂いた後に、その自然を育む大いなる大山を様々なアプローチで楽しんで頂く。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

IV. 今回のテーマは、大山の森が育む自然と山岳信仰でしたが、テーマを変えたとしたらどんなテーマがよいですか？

- ・「大山の森が育む自然と山岳信仰」というタイトルとアクティビティが噛み合っていないと感じました。特に山岳信仰については、特に関連するアクティビティがあったでしょうか。（登山？）大山寺は訪問しましたが、山岳信仰を強く実感できるような体験はなかったように思います。
- ・最初のオオサンショウウオのお話の印象が強かった為、テーマが「大山の森が育む自然と山岳信仰」だとわからなかったです。もし変えたとしたら「大山の森が育む自然と水」だと思います。例えば、フランスの「ルルドの水」のような「聖なる水」等、この地域の水の存在感を演出してもいいかもしれません。
- ・個人的に今のテーマが良いと思います。理由として、分かりやすく、テーマと体験がマッチしているからです。あえて変更するなら四季折々の大山の体験が考えました。
- ・清水と原始の自然が、全ての体験を繋ぎ合わせる赤い糸になると思います。
- ・テーマは良いと思います。ただ、具体的に起こす行動をツアーの目的に組み込んでも良いと思います。物事にプラスの影響を与えるために何ができるのか？オオサンショウウオの救済基金はあるのか？実際にこの場所を支援するために何らかの意義ある行動を取ることはできるのか？オオサンショウウオが生き延びるのに必要な環境や、自然を保護する活動が何も行われていない、あるいは何もできないという悲しみを抱えたまま、参加者が帰ることは貴社も望んでいらっしゃると思います…。できれば地元の方とお会いしたり、あるいは（旅行中にも言いましたが）現地の方が保護活動に参加することで恩恵を受ける、または利益を上げるのに役立つ方法を組み込んではいかがでしょうか。私の感覚では、日本人は自分たちのものを外部の人や外国人が大切にしていると感じると、さらにそれを尊重しようと動く印象があります。
- ・豊かな自然と山岳信仰で行くべき。訪日外国人の興味関心のど真ん中な要素である。

V. 今回のモニターにツアータイトルをつけるとしたら

- ・前回参加した際のフィードバックやその時のお話から、今回は「大山から生まれる水を迎える旅」のようなものになると思って参加していました。アクティビティの組み立てなど、前回の方が良かった部分もいくつかありました。特に皆生温泉については「大山の森が育む自然と山岳信仰」というテーマと関わるストーリーがうまく伝わらず残念でした。
- ・自然を体験！カラフル大山エコツアー。
- ・大山の自然と伝説：Immerse yourself in the legends of the forests of Daisen // Immerse Yourself in the Nature and Legends of Mount Daisen
- ・「大山を取り巻く多様な生態系：その緑の中にエスケープ！」または、「日本のオオサンショウウオ：その生息地を訪ねる旅」はいかがでしょうか。
- ・（私はツアー内容の半分しか見ていないので）タイトルを付けるのは難しいですが、例えば「大山の神秘」はいかがでしょうか。あるいはもしオオサンショウウオをツアーのハイライトに据えるなら、「大山の穏やかな巨人ーオオサンショウウオ」はどうでしょう（しかしこの巨人には、「送り虫」として広く重要な役割を持つザトウムシ、さらには巨大な家であるものの、自然との共生の素晴らしいお手本でもある農家を含めても良いと思います）
- ・オオサンショウウオに出会う。大山の豊かな森と山岳信仰。
- ・日本で最も人に会わない鳥取県で、静寂と自然を楽しむ旅。
- ・大山の山岳信仰、自然、オオサンショウウオ。

■ 2. モニターツアーアンケート【大山地区】

Ⅶ.その他ご意見があれば、ご記入ください。

- ・今回は、これまで参加させていただいたモニターツアーの中で最も参加者同士が改善点を語り合ったツアーでした。タイトル・テーマと実際のアクティビティがうまく噛み合っていなかったことが、ツアーの目的を曖昧にしていたかもしれません。最終日のミーティングで出された数多くの意見をぜひ参考にさせていただきたいと思います。前回の隠岐では、特に食事に関して非常に柔軟に対応していただいたと思います。今回の大山では、食事の面で難易度が高かったように思います。色々と調整が容易ではないことは理解できますが、日南町周辺での（特に欧米人観光客を対象とした）民泊は難しいように感じました。前回はイチイ荘に宿泊したと思いますが、今回も皆でそこへ宿泊した方が良かったのでは？（ロジスティックの面でのスタッフの負担を考えると）と思いました。オオサンショウウオについては、賛否や課題も多々あると思いますが、一度体験すると「なんとか守ってあげたい」という気持ちが誰しも生まれてくる、不思議な魅力のある価値の高いアクティビティだと思います。ハードルは高いかもしれませんが、ツアーに組み込めること、岡田先生や日南町の皆様が願うような成功に繋がることを願っています。
- ・今回のツアーのターゲットを明確にする必要があります。宿泊先、食事内容のサービスが乏しい感じがしました。学生や若者をターゲットに考えるのであれば、今回の内容でも大丈夫ですが、大人や富裕層をターゲットにするのであれば宿泊施設のレベルと食事の内容、アウトドアでご利用頂いたスナックやバーベキュープランも見直す必要があると思います。それとナイトライフの充実性を考えて、例えば、音楽が聴けて地元の人達や観光者同士が触れ合える場所を用意したり、夕食はホテルではなくフリーにして地元のレストランで自由行動するプランなど取り入れてもいいかもしれません。
- ・私の感覚では、このツアーで参加者に講義をする必要まではないと思いますが、「姿勢を見せる」べきだとは思いますが、このツアーを保護に着目し、その実現方法を模索するツアーとして明確に打ち出すべきだと思います。難しい注文だということはわかっていますが、この地域で我々が気づいた問題に対処することは極めて重要だと思いますし、内容が浅く、人生の本質には触れないよある観光旅行からは離れた息抜きとなるかもしれません。
- ・大山エリアの森ウォーキング、大山登山、ダウンヒルのみではインパクトに欠ける。とがったコンテンツと言えるオオサンショウウオについては、保全体験というコンテンツの特性上、団体送客は困難。また、環境破壊も急激に進んでおり、地元の理解も必要。（地域の資産をどう経済価値に結びつけるか？）
- ・宿泊プランや航空券と違って、アクティビティのプランを一括比較できる大手メタサーチの存在がない現状では、希少性のあるコンテンツを上手く見せていくことで大きなチャンスがあるのではないかと（高額な料金設定等）一方で、クローズドだからこそ価値があるとも言え、積極的なPRがなされない難しさがある。受入側が、大規模な流通に乗せたくない意向もあり、JTBのビジネスとしてスケールしづらい面もある。

最終検討会

日時：令和2年2月14日 13:30～16:30

場所：松江テルサ4階 特別会議室

大山、隠岐の受入事業者合同で最終の検討会を開催し、コンテンツの内容を確認し、最終的な提供料金の検討をお願いした。旅行行程については、大山を5日間、隠岐を4日間として行程を組んだ。

両地域あわせ12の体験コンテンツを造成した。その中でも最も重要なコンテンツとして両地域で3つずつのコンテンツに絞り込んでもらった。

大山 オオサンショウウオ保全体験

大山ダウンヒルサイクリング

デトックス登山 at DAISEN

隠岐 島暮らし体験

民謡体験

摩天崖天空ウォーク

参加者

	団体名	役職	出席者
1	隠岐観光協会	事務局長	角橋 隼人
2	山陰観光開発株式会社（隠岐旅工舎）	取締役社長	八幡 洋公
3	（一社）日南町観光協会	事務局長	山本 真也
4	もんぺる	ガイドコーディネーター	圓山 加代子
5	もんぺる	ガイドコーディネーター	松本 徹也
6	テレビジョン(株)	代表取締役	マサボ イザベル
7	(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	営業企画担当課長	中藪 大輔
8	中国運輸局観光部観光地域振興課	課長	花野 和弘
9	中国運輸局観光部観光地域振興課	担当	小桝 早紀
10	（一社）山陰インバウンド機構	シニアマネージャー	石橋 孝司
11	(株)JTB松江支店	観光開発プロデューサー	上杉 謙一郎
12	(株)JTB松江支店	担当	高梨 剛

会議議事録

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業
「国立公園大山・隠岐諸島を楽しむ滞在型旅行開発」

最終検討会

議題項目

I. 企画概要説明

- 進捗状況
 - 7月8月初旬：現地調査
 - 10月11月：モニターツアー実施
 - 2月：最終検討会（本日2月14日）
 - 2月下旬：最終監修（JTBC総研）
- Adventure tourism
 - activity、nature、cultureを取り入れたツアーの醸成

II. コンテンツ

- 隠岐 島くらし体験
 - 漁師の日常を体験（ゆったりとした時間を過ごす）
 - ✓キーポイントは普段（天気が良ければ外で食べ、時間の経過をゆったりと）
 - ✓調理体験はセット商品として同梱
- 隠岐 民謡体験
 - つきあかりカフェで行う島料理と民謡演奏、交流体験
 - ✓島の人たちが三味線の音に引き寄せられてやってくるサプライズあるかも
- 隠岐 摩天崖・天空ウォーク
 - つきあかりカフェで行う島料理と民謡演奏、交流体験
 - ✓自然のサイクルを身近に体験できる。
 - ✓今回のツアー醸成の中でも目玉となるインバウンドのみでなく国内でも商品化
 - ✓ドローンによる動画撮影プランを設けることでプロポーザル効果を設けることが今後の商品展開に向けても利点があるのではないだろうか。
- 隠岐 隠岐ジオパークツアー
 - ナショナルジオパークの成り立ちを伝える
 - ✓天空ウォークとのセット販売も可能（午前午後のプラン）
- 隠岐 島サイクリングツアー
 - 島の中まで入り込むことで現地の文化に触れる（ガイドは必須、英語表記がないため）
 - ✓電動自転車で回るゆったりツアー、GoProなどのアイテム提供もできないか
- 隠岐 夜の隠岐神社参り
 - 神社という文化を楽しむ、夜の灯の中、荘厳な雰囲気を楽しむ
 - ✓神主さんによる文化として神道の解説がわかりやすかった、きちんとした英語訳を希望
 - ✓テーブルでの通訳ガイドも可能

II.コンテンツ

➤ 隠岐 突き牛散歩体験

日本独特の闘牛（牛道）を体験するツアー

✓海外のサステナブル（動物愛護など）に対する対応などが必要かと考える。

➤ 大山 オオサンショウウオ保全体験

天然記念物であるオオサンショウウオとのふれあい（環境省の許可あり）

✓自会える確率が高い。もし名前が付けばまた会いに行ける楽しみがオオサンショウウオ一色の食事などで固めることで話題性が設けれる

懸念としては、もし仮にSNSなどで話が周り、ツアー外の方により生態系が崩れたらなどがある

✓レジャー性をどう打ち出すか

座学、講義ではなく「楽しむ」ためのプログラム醸成が必要

✓イザベラSNSによる反応

アメリカ、中国では反響あり（生息地）、ヨーロッパにおいては反応薄

呼び名の変更などで、ターゲティングが変わるかも

➤ 大山 古民家で田舎料理体験

時間の過ぎる感覚を忘れ、ゆったりとした（ロハスな）田舎体験

✓おにぎりからつなげる、水、火、農業をしっかりとストーリー仕立てに

✓キャッチーな売り文句をいくつか調節できないか

✓夏のハンモック、ピオトープ、滝など多くのコンテンツの活用は可能

✓日本のトラディショナルな作業着（コスプレ）として衣装販売もしくは体験としての商品化はありと思われる

➤ 大山 光あふれる大山の森ウォーク（金額調整）

木谷沢を中心的に歩く自然の森、水と木々とそこに住む動物（虫）に触れる

✓課題であったサステナブルに対して検討を行う

✓コップ、マグなどをアメニティとして活用することで解消できないか

✓英語の可能な通訳ガイドの育成が今後の課題か

✓それまでの感は、フリップ、アイテムの使用により通訳するポイントを絞っていく

➤ 大山 大山ダウンヒルサイクリング（金額調整）

風を切ったのサイクリング（ダウンヒル）途中の乗馬体験を取り入れて

✓事前の導入が肝心

✓ブレーキ、安全保護具の管理についての導入

✓BBQ体験（焚火を囲んで）の交流体験

➤ 大山 山岳信仰の山 大山登山

再度考え方についてもう少し検討を

金額調整含めて、セット品などの検討も

✓巡礼、修験道、日本ならではの制覇ではなく、大山ならではの、はないのか

✓登山をする、汗をかく、下山後の達成感とともにお祓いをしてもらう

✓それを一つの大山のブランディングとして確立できると販売を行いやすい

➤ 共通しての問題点

✓ガイド（通訳）の常時同行

III.Tour説明

- モデルツアー概要

IV.今後の展開

- 日南町からオオサンショウウオ
- 大山地区からは？
- 木谷沢は外せない、ではダウンヒルか？
- 2月20日締め切りで絞り込みと、金額、細かい表現の追加
- a)今後カセットプランとして1泊2日などのプラン提供はできないか
- 有名どころの観光地プラスでの検討もできるようなコンテンツ造成も検討に

V.今後のスケジュール感（販売に向けて）

- 今後個々人で提案する箇所への提案
- 3月6日、ヨーロッパで提案できるような英文の資料は可能か？

総括

最終的なコンテンツ造成

現地資源調査から最終の検討会を経て、コンテンツをブラッシュアップした。

【島暮らし体験】



コンテンツとしては、隠岐旅工舎で販売しているコンテンツであった。漁村での体験メニューは、当日の海の状況などでタコ採り、貝堀などを提供するものであったが、モニターツアーでの意見等を参考に、漁師さんとの交流がメインとするため、調理体験を基本とし、一緒に食事をとるかたちを提供することとした。

【民謡体験】



従来のコンテンツは、港町を歩きながらガイドすることだったが、企画開発会議の段階で町中にあるカフェでの昼食をとることを付け加えた。カフェでは、民謡が流れていることを聞き、本物の三味線の演奏と民謡を聞かせてもらえるよう依頼した。モニターツアー時に、皿踊りを体験できたことが高評価となり、カフェでは三味線演奏、民謡、皿踊りをセットで提供することとした。評価がよくなかった、港町散歩はカフェと切り離し、カフェでの体験のみとした。

【摩天崖・天空ウォーク】



従来のコンテンツは、ジオパークガイド（日本語）が案内する90分のコースで、ガイドをしながら摩天崖を国賀海岸まで歩く体験であった。隠岐の島一番の景勝地であり、人気も高いメニューであることから、企画開発会議で「ゆっくりとした時間」の提供と国賀海岸ではインスタントでないコーヒーを提供することになった。ジオパークを語れる英語ガイドが同行し、モニターツアー検証結果コンテンツは高評価を得た。

総括

【隠岐ジオパークツアー】



ジオパークガイド（英語）が同行し、カルデラに浮かぶ島について、しっかりと解説するツアーであったが、モニターツアーでは十分な解説の時間をとることができなかった。ツアーが始まる前にしっかりとスケジュールの説明と、赤ハゲ山での解説の時間は、場所を確定しておき、飲料・お菓子の提供することで、座学の雰囲気を出し参加者の集中を促す工夫をした。農放牧畑の解説は必須とした。

【島サイクリングツアー】



企画開発会議では、自転車と地図を渡し自由にサイクリングを楽しんでもらう企画だったが、モニターツアー時に参加者の意見を聞き、ガイド（英語）が誘導するツアー形式とした。港から景色のよい明屋海岸までの往復のコースを設定し、途中、神社などを解説するポイントを設け、カフェに立ち寄ることも入れ込んだ。日頃、運動していない方にも楽しんでいただけるよう電動アシスト自転車を用意した。

【夜の隠岐神社まわり】



コンテンツとしては海士町観光協会が主催するメニューであったが、ガイド（英語）を同行させることを必須として、神主さんの説明や祈祷での所作など、予めガイド（英語）と打合せし、シナリオ化することにより、難しい神道の解説をわかりやすく英語で表現する工夫をした。

【突き牛散歩体験】



現地資源調査では、ただ牛小屋へ案内し、散歩にでかけ、餌やり体験をするものであった。体験の初めに、突き牛の散歩やスケジュールをきっちり説明してもらうことにより、突き牛を育てるバックグラウンドを参加者に知ってもらった。突き牛の特別公演はオブショナルとしたが、セットで申しこみを受ける体制を整えた。

総括

【オオサンショウウオ保全体験】



現地資源調査では、夜の保全体験のみであったが、企画開発会議の中で、日中に日野川源流の視察と座学によるオオサンショウウオの解説をお願いした。住民との交流の時間をもってもらうため、夕食体験時に住民との交流の時間を設けた。

企画開発会議で、まだチップの入っていないオオサンショウウオを発見した場合、発見者に名づけの権利を与えることになる。発見者が望めば、以後の調査でそのオオサンショウウオが見つかった場合、メールで体長など成長をご連絡することとした。

【古民家で田舎料理体験】



企画開発会議で、調理体験は季節により調理素材が変わるため、まずかまど炊き体験を基本とし、季節や状況により素材を変更する。自家製蜂蜜とコーヒーの提供は必須とした。モンペを試着し、ゆっくりとくつろいでいただくよう工夫し、モンペも希望者へは販売できるようにした。3時間メニューを4時間に延長し、田舎の古民家での時間を楽しんでもらえる工夫をした。

【光あふれる大山の森ウォーク】



現地資源調査では木谷沢渓流でのウォーキングであったが、もっと時間をかけて広い範囲でのウォーキングでも良いとの意見と、ブナはさらに上方に生えているため、鍵掛峠からブナの森を経由し、木谷沢渓流へ案内することとした。

モニターツアー後、車道を歩くことがマイナスのイメージの意見があり、車道以外での移動が不可能であることから、木谷沢渓流のみの案内と、午前中のスタート、湧き水を利用した抹茶をたて提供することを基本とした。

総括

【大山ダウンヒルサイクリング】



従来、「森の国」の人気メニューであったが、立ち寄り先や解説する場所を新たに探した。出発地は変更せずルートを修正し、途中、地域の方との交流場所として乗馬クラブを設定した。ゴールは従来の海岸ではなく、御来屋港として途中の小さな港町を楽しんでもらうこととした。最後に港にある魚市場と食堂での食事を設定し、大山の森、日本海の幸で山と海を感じてもらう工夫をした。

【デトックス登山 at Daisen】



大山が修験道の道であることから、それを感じてもらうよう、石室や大山寺の解説。お神酒を頂上でいただく、みそ玉をつかった味噌汁の提供、大山茶の提供を必須とする。下山後、温泉での入浴をセットし、ゆっくりと疲れを癒してもらう工夫をした。最終検討会后、下山をしたあと大山寺でのお祓いを設定し、修験道登山を演出する工夫をした。

総括

ツアーに関する工夫点

【隠岐】



隠岐諸島の4つの島を回るには、フェリー、ジェットフォイル、内航船を利用しての移動となるため、スケジュールがある程度決まり、そこへコンテンツをはめ込み、ひとつのストリートとすることとした。

各島々でテーマを決め、それにあったコンテンツを開発、磨き上げをおこなった。

- ・島後 隠岐の島町 離島文化、交流
- ・島前 西ノ島町/知夫村 ジオパークの自然
海士町 歴史、文化

全体をとおして、離島の自然環境とそこに住む人々との交流を通じ、離島の暮らしを感じてもらう構成を考えた。

ガイド（英語）に関しては、一人のガイドが島の出迎えからお見送りまで、4日間通じガイドをおこなうようにした。

食事について、宿泊箇所での夕食はさけて、地元のローカルレストランでの食事、魚料理に偏りがちなメニューをコントロールし、和食、洋食、BBQなどをバランスよく配置した。

朝食については、モニター時にトライアルとして各宿泊施設が洋食の提供をし、高評価を得た。

モニター終了後、隠岐の島町でのトレッキングは削除し、壇鏡の滝等の見学を入れた。海士町での高校生との交流は、有識者会議、モニターでの意見から行程から外した。

総括

■ ツアーに関する工夫点

【大山】



大山でのキラーコンテンツ、オオサンショウウオの保全体験をフックとし、大山のコンテンツを体験してもらうようにした。

テーマは水 大山のブナの林が生み出す豊富な水と、オオサンショウウオが生息する環境には綺麗な水の存在があることをつないでテーマとした。



全体をとおして、自然体験と地元の方との交流をテーマにツアーを構成した。

ガイド（日本語）に関して、一人のガイドがツアーを通じてストーリーを語れるように、出迎えからお見送りまで、4日間のお見送りをした。ガイド（英語）を同行させ、以後、英語ガイドが一人でツアーを語れるようにした。

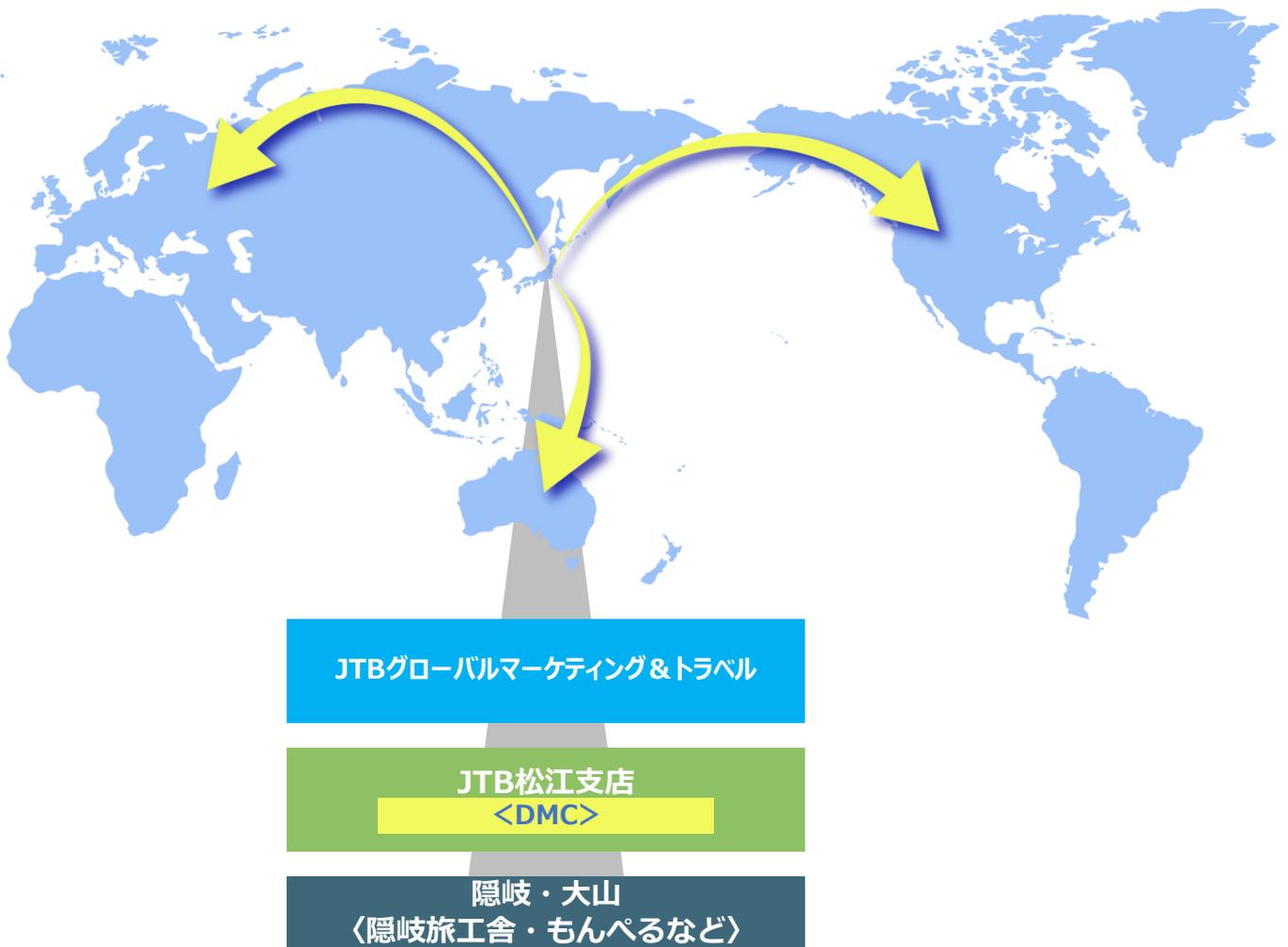


食事について、モニター時はすべて和食となったため、モニター終了後、洋食や焼肉など変化をもたせるよう工夫した。宿泊についても、民泊はさけて米子市内でのホテルや大山のオーベルジュなど、選択できるように工夫した。

全体をとおして、登山やダウンヒルなど体力を使うものが多いため、中日を設け5日間のツアーとした。

次年度への展開

- ・開発したコンテンツに関しては、それぞれ単独での販売も可能とした。ツアーに関して、今回、隠岐・大山それぞれでのツアーを催行したが、隠岐・大山を一つのツアーと考えることもでき、合わせて9日間のツアーとすることもできる。
- ・圏域に受入れをまとめるDMCがないため、今回協力いただいた、日南町観光協会、もんぺる、隠岐旅工舎を地域のベンダー（事業者）とし、とりまとめをJTB松江支店が行う形で販売することを検討する。
- ・JTBグループの訪日旅行事業の窓口であるJTBグローバル・マーケティング&トラベルを通じ、欧米豪の旅行会社へ販売する、BtoBでの販売を検討する。



関係機関一覧

【隠岐】

- ・隠岐観光協会
〒685-0015 島根県隠岐郡隠岐の島町港町潮口24
TEL : 08512-2-1577 FAX:08512-2-1406
- ・隠岐の島町観光協会
〒685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四
TEL : 08512-2-0787 FAX:08512-2-3950
- ・西ノ島町観光協会
〒684-0303 島根県隠岐郡西ノ島町大字美田4386-3
TEL : 08512-7-8888 FAX:08512-7-8890
- ・海士町観光協会
〒684-0404 島根県隠岐郡海士町福井1365-5
TEL : 08514-3-0101 FAX:08514-2-0102
- ・知夫島観光協会
〒685-0100 島根県隠岐郡知夫村1730-6
TEL : 08514-8-2272 FAX:08514-8-2278
- ・隠岐旅工舎
〒685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四
TEL : 08512-2-7100 FAX:08512-2-0221

【大山】

- ・日南町観光協会
〒689-5212 鳥取県日野郡日南町霞800
TEL : 0859-82-6406 FAX:0859-82-6406
- ・大山観光局
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山45-5
TEL : 0859-52-2523 FAX:0859-52-2770
- ・森の国
〒689-3319 鳥取県西伯郡大山町赤松634
TEL : 0859-53-8036 FAX:0859-53-8004

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

「国立公園 大山・隠岐諸島を楽しむ 滞在型 山陰商品開発事業」事業報告書

令和2（2020）年3月19日発行

[編集・発行]

株式会社JTB 松江支店

〒690-0003 島根県 松江市 朝日町477-17 松江SUNビル7階

電話 0852-23-6720 FAX 0852-23-7739

[調査・編集]

観光開発プロデューサー 上杉 謙一郎
